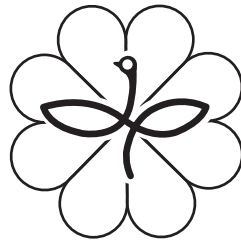


令和 7 年 度

事業報告並びに収入支出決算報告書



神奈川県民生委員児童委員協議会

は じ め に

2025 年問題にみられるような独居高齢者・老老世帯の一層の増加や認知症高齢者に対する消費者被害、さらに社会的孤立（孤独死）対策等の高齢者の課題、ヤングケアラーの早期発見、不登校・引きこもり問題、孤立する子育て世帯への支援など児童に関する課題、さらに頻発する自然災害を受けての避難支援への関わりのある方など、令和 7 年度も「地域の身近な相談役」である民生委員・児童委員に対する期待の多様化が進みました。12 月には一斉改選も行われましたが、本会では県版活動強化方策に掲げる『きづく・つなぐ・みまもる』活動を基本に、次の事項を重点に掲げて事業に取り組みました。

<重点目標>

1. 社会的孤立を防ぐための個別支援活動の推進

単位民児協会長研修会では、独り暮らしの高齢者を地域で支えるための課題や実践報告、認知症に対する理解と家族も含めたサポートのあり方、さらに民生委員として理解しておくべき防災・災害対策等をテーマとして取り上げ、年 3 回実施しました。また県民児協だよりでは児童委員活動や災害等を特集して掲載し、年 4 回発行しました。さらに主任児童委員を対象に学びの機会を提供するため、主任児童委員活動の基本を理解するための動画配信に向けた調整・準備に取り組みました。

2. 複雑・多様化する課題を受け止め、つなぐための多様な機関・団体との連携

県行政と常任理事との懇談会では、地域福祉に焦点を当てながら、県による取り組みや課題を報告後、事前アンケート結果をもとに意見交換を行いました。また児相長と常任理事との連絡調整会議では、主任児童委員 2 名がオブザーバーとして参加し、子どもや家庭を取り巻く問題、活動の現状や思い等を県や児相長と共有しました。

3. 持続可能な委員活動（制度）のための取り組み

総合企画委員会では期の浅い委員へのサポートに係る取り組みについて引き続き検討し、新任委員へのヒアリングレポートの作成に向けた内容等を検討しました。地域活動推進助成では市町村・単位民児協における取り組み（民生委員児童委員活動への理解促進、孤独死予防等）3 件に対して助成するとともに、講義の動画配信による地域版活動強化方策策定支援研修会を実施しました。

令和 7 年 12 月の一斉改選を経て、顔ぶれも新たになりましたが、これまで私たちが積み重ねてきた活動を振り返り、やりがいや楽しさを再確認するとともに、「きづく・つなぐ・みまもる」姿勢を大切に、これからも皆さまと共に活動を進めてまいります。引き続き、会員並びに関係機関のご理解・ご協力をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

令和 8 年 6 月

神奈川県民生委員児童委員協議会

会 長 三 觥 壽 則

も く じ

はじめに

事業報告

1. 会務の運営と企画調整機能の強化	1
(1) 会務の運営	1
(2) 企画調整機能の強化	4
(3) 市町村民児協事務局との連絡調整	7
(4) 関係機関・団体との連絡調整	7
(5) 会員慶弔事業の実施	8
2. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、単位民児協活動の強化	9
(1) 地域福祉活動促進費の交付	9
(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定	27
(3) 地域版活動強化方策の策定支援	28
(4) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援	29
(5) 民生委員児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施	31
(6) 生活福祉資金の活用、社協との協働の促進	32
3. 児童委員活動の推進（基盤づくり）	32
4. 研修事業の実施（本会主催研修事業）	32
(1) 市町村民児協会長研修会	32
(2) 単位民児協会長研修会	32
(3) 地域版活動強化方策策定支援研修会	33
5. 情報提供の強化	33
(1) 『県民児協だより』の発行	33
(2) 民生委員児童委員活動の広報の強化	34
6. 全国・関東ブロック会議等への参加	34
7. 関連団体・機関との連携、協働	35

決算報告

一般会計収入支出決算書	・ ・ ・ ・ ・	37
貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・	42
固定資産増減明細書	・ ・ ・ ・ ・	43
積立金明細書	・ ・ ・ ・ ・	44
財産目録	・ ・ ・ ・ ・	45
別表（資産）	・ ・ ・ ・ ・	46
別表（負債）	・ ・ ・ ・ ・	47
監査意見書	・ ・ ・ ・ ・	48



事業報告

1. 会務の運営と企画調整機能の強化

(1) 会務の運営 経費：1,907,729円

役員会は、正副会長会議を2回、常任理事会を5回、理事会を6回、総会を3回、監事会を1回開催し、本会の適正な運営ならびに具体的活動の方針を協議した。

① 正副会長会議 2回

開催期日	議 題
7. 5. 15	1. 年間予定について 2. 令和6年度県民児協事業報告（案）並びに決算報告（案）について 3. 令和7年度県民児協収入支出補正予算（案）について 4. 第1回総会および第1回単位民児協会長研修会について 5. 市町村民児協会長研修会について 6. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 7. 地域版活動強化方策策定支援研修会（オンデマンド）について 8. 令和7年度（第85回）関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会（埼玉県大会）について 9. 令和7年度（第94回）全国民生委員児童委員大会（北海道大会）について 10. 「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」の取り組みについて 11. 令和7年度 県民児協の助成事業について 12. 外部委員会等について
8. 2. 13	1. 令和8年度県民児協事業計画（案）について 2. 令和8年度役員会・総会の年間予定について 3. 令和8年度民生委員・児童委員活動PR事業について 4. 令和8年度各種助成について

② 常任理事会 5回

開催期日	議 題
7. 5. 20	1. 年間予定について 2. 令和6年度県民児協事業報告（案）並びに決算報告（案）について 3. 令和7年度県民児協収入支出補正予算（案）について 4. 第1回総会および第1回単位民児協会長研修会について 5. 市町村民児協会長研修会について 6. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 7. 地域版活動強化方策策定支援研修会（オンデマンド）について 8. 令和7年度（第85回）関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会（埼玉県大会）について 9. 令和7年度（第94回）全国民生委員児童委員大会（北海道大会）について 10. 民生委員児童委員活動推進助成について 11. 「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」の取り組みについて 12. 令和7年度 県民児協の助成事業について 13. 外部委員会等について
7. 9. 18	1. 民生委員改選に伴う生活福祉資金に関する引継ぎについて（県社協生活支援課） 2. 年間予定について 3. 一斉改選に伴う準備等について

開催期日	議 題
	(1) 県民児協役員選任の手順について (2) 臨時総会の役割分担について (3) 単位民児協会長研修会（案）について (4) 次期広報委員・通信員について (5) 退任記念品について 4. 市町村民児協会長研修会・第2回理事会（10/16, 17 箱根）について 5. ブロック別活動助成・追加申請について 6. 民生委員児童委員活動推進助成について 7. 総合企画委員会の取り組みについて 8. 第85回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会（埼玉県大会）7/10, 11 について 9. 第94回全国民生委員児童委員大会（北海道大会）9/4, 5 について 10. 全民児連主催研修会等の派遣について 11. 外部委員会の報告について 12. 民生部会の取り組みについて（キラリ輝く児童委員活動、ニュースレターMINSEI）
7. 11. 10	1. 年間予定について 2. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 3. 一斉改選に伴う県社協理事・評議員等の後任候補者について 4. 一斉改選に伴う役員慶弔について 5. 第3回理事会、退任慰労会（11/20）について 6. 第4回理事会および臨時総会・単位民児協会長研修（12/22）について 7. 今期の県民生委員児童委員協議会の振り返り等について 8. 外部委員会の報告について
8. 1. 20	1. 年間予定について 2. 第2回総会（3/26）の役割分担について 3. 第3回単位民児協会長研修会（3/26）について 4. 各種外部委員会について 5. 広報委員会委員の委嘱について 6. 全国大会・研修会等の派遣について 7. 役員慶弔について 8. 令和8年度県民児協の事業の方向性等について 9. 県民児協の顧問について 10. 第5回理事会、令和8年賀詞交換会（1/30）について 11. 今後の役員会の案内・出欠の連絡方法について 12. 【情報交換】一斉改選後の各民児協の動きについて
8. 2. 19	1. 令和8年度県民児協事業計画（案）並びに収支予算（案）について 2. 令和8年度役員会・総会の年間予定について 3. 令和8年度民生委員・児童委員活動PR事業について 4. 令和8年度各種助成について 5. 民生委員児童委員活動推進事業助成について

③ 理事会 6回

開催期日	議 題
7. 6. 13	1. 年間予定について 2. 令和6年度県民児協事業報告（案）並びに決算報告（案）について 3. 令和7年度県民児協収入支出補正予算（案）について 4. 第1回総会および第1回単位民児協会長研修会について

開催期日	議 題
	5. 市町村民児協会長研修会について 6. 県行政と役員との懇談会及び児童相談所所長と本会常任理事との連絡調整会議について 7. 地域版活動強化方策策定支援研修会（オンデマンド）について 8. 令和 7 年度（第 85 回）関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会（埼玉県大会）について 9. 令和 7 年度（第 94 回）全国民生委員児童委員大会（北海道大会）について 10. 「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」の取り組みについて 11. 令和 7 年度 県民児協の助成事業について 12. 民生委員児童委員活動推進助成について 13. 外部委員会等について
7. 10. 17	1. 年間予定について 2. 一斉改選に伴う準備等について (1) 県民児協役員選任の手順について (2) 臨時総会の役割分担について (3) 単位民児協会長研修会（案）について (4) 次期広報委員・通信員について (5) 退任記念品について 3. 総合企画委員会の取り組みについて 4. ブロック別活動助成・追加申請等について 5. 民生委員児童委員活動推進助成について 6. 民生委員改選に伴う生活福祉資金に関する引継ぎについて（県社協生活支援課所管） 7. 第 85 回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会（埼玉県大会）7/10, 11 について 8. 第 94 回全国民生委員児童委員大会（北海道大会）9/4, 5 について 9. 全民児連主催研修会等の派遣について 10. 外部委員会の報告について 11. 民生部会の取り組みについて（キラリ輝く児童委員活動、ニュースレターMINSEI）
7. 10. 20	1. 年間予定について 2. 一斉改選に伴う県社協理事・評議員等の後任候補者について 3. 一斉改選に伴う役員慶弔について 4. 役員退任慰労会について 5. 第 4 回理事会および臨時総会・単位民児協会長研修（12/22）について 6. 今期の県民生委員児童委員協議会の振り返り等について 7. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 8. ブロック別活動の報告について 9. 外部委員会の報告について
7. 12. 22	1. 神奈川県民児協について 2. 神奈川県民児協役員の選任について (1) 常任理事候補者について (2) 正副会長候補者について (3) 監事選任の市町村民児協について 3. 臨時総会ならびに第 2 回単位民児協会長研修会について 4. 令和 8 年 1 月以降の神奈川県民児協の予定について
8. 1. 30	1. 年間予定について

開催期日	議 題
	2. 第2回総会（3/26）の役割分担について 3. 第3回単位民児協会長研修会（3/26）について 4. 各種外部委員会について 5. 広報委員会委員の委嘱について 6. 全国大会・研修会等の派遣について 7. 役員慶弔について 8. 令和8年度県民児協の事業の方向性等について 9. 県民児協の顧問について 10. 令和8年賀詞交換会（1/30）について 11. 外部委員会の報告について 12. ブロック別活動の報告について 13. 今後の役員会の案内・出欠の連絡方法について 14. 【情報交換】一斉改選後の各民児協の動きについて
8.3.5	1. 令和8年度県民児協事業計画（案）並びに収支予算（案）について 2. 令和8年度役員会・総会の年間予定について 3. 令和8年度民生委員・児童委員活動PR事業について 4. 令和8年度各種助成について 5. 第2回総会・第3回単位民児協会長研修会（3/26）の流れについて 6. 2026年度優良民生委員児童委員協議会の推薦（全民児連）について 7. 民生委員児童委員活動推進事業助成について 8. ブロック別活動の報告について 9. 外部委員会の報告について

④ 総会 3回

開催期日	議 題
7.6.30	1. 令和6年度事業報告並びに収入支出決算報告（案）について
7.12.22 （臨時）	1. 正副会長・常任理事の選任について 2. 監事選任市町村民児協について
8.3.26	1. 監事の選任について 2. 令和8年度事業計画並びに収入支出予算（案）について

⑤ 監事会 1回

開催期日	議 題
7.5.23	1. 事業報告・決算報告（案）説明/質疑応答/講評

(2) 企画調整機能の強化

事業の企画や事業を円滑にすすめるために各種会議を開催した。

① 総合企画委員会 1回 **経費：73,437円**

開催期日	議 題
7.10.2	1. 第5回総合企画委員会の振り返りについて 2. 「期の浅い委員へのサポートについて」に係る取り組みについて (1) ヒアリングレポートの作成について（経過、構成、スケジュール等） (2) ヒアリングレポート素案の内容について ① 住民への支援活動の場面 ② 民児協活動の場面 ③ 行政や専門機関・団体との連絡調整の場面 ④ その他（体裁や必要な情報の掲載等） 3. 県民児協だよりの紙面について 4. 活動強化方策に係る取り組みについて (1) 令和7年度地域版活動強化方策策定支援研修会（オンデマンド）の開催状況

	(2)次期県版活動強化方策の策定に向けた準備について 5. 次期総合企画委員会委員について
--	--

上記委員会開催ほか、令和7年12月の一斉改選も見据え、各地域の共通課題である“期の浅い委員へのサポート”に焦点を当て、委員長および副委員長をはじめとする委員との打合せを重ね、令和7年12月「期の浅い委員へのサポートに向けたヒント集」を発行した（発行部数：5,000部）
なお、同ヒント集を活用した研修会の実施や、活用に向けた周知にも継続的に取り組んだ。

総合企画委員会委員（令和5年4月1日から令和7年11月30日まで） ◎委員長 ○副委員長

◎白鳥 勉（伊勢原市民児協 会長）
○小西 悦子（寒川町民児協 副会長）
長原 桂（鎌倉市第一地区民児協 主任児童委員）
畠山 俊次（大和市民児協 副会長）
中村 弘子（松田町民児協 会計）
佐藤 又左衛門（真鶴町民児協）
渡邊 希奈美（箱根町民児協 事務局）
中村 美安子（神奈川県立保健福祉大学 教授）
宮本 莉緒（神奈川県地域福祉課 主事）
三觜 壽則（神奈川県民児協 会長、藤沢市民児協 会長）※オブザーバー

② 広報委員会 4回 経費：111,690円

開催期日	議 題
7.5.26	1.『県民児協だより第161号』の紙面校正について 2.『県民児協だより第162号』の紙面企画について
7.9.12	1.『県民児協だより第162号』の紙面校正について 2.『県民児協だより第163号』の紙面企画について 3.県民児協広報事業について
7.11.18	1.『県民児協だより第163号』の紙面校正について 2.『県民児協だより第164号』の紙面企画について 3.みんぴょんデザイン募集について 4.本会ホームページの活用について
8.2.26	1.正副会長の選出について 2.広報委員会の役割、委員の追加選出について 3.『県民児協だより第164号』の紙面企画について 4.令和8年度『県民児協だより』の紙面企画について 5.『県民児協だより第165号』の紙面企画について 6.令和8年度民生委員・児童委員活動強化週間に向けて 7.前広報委員会委員長からの「広報委員」の役割について（意見交換含む）

広報委員（令和4年12月1日から令和7年11月30日まで） ◎委員長 ○副委員長

小林 美幸（藤沢市主任児童委員）
○齋藤 啓子（大和市民生委員・児童委員）
菅 重男（伊勢原市民生委員・児童委員）
嶋村 真由美（座間市民生委員・児童委員）
宮崎 進（葉山町民生委員・児童委員）
◎守屋 孝幸（松田町民生委員・児童委員）
勝亦 仁（真鶴町民生委員・児童委員）※第3回広報委員会（R6.11.19）まで
白井 幸江（神奈川県民児協副会長、横須賀市民児協会会長）※オブザーバー
宮本 莉緒（神奈川県地域福祉課）オブザーバー
川崎 悦子（神奈川県地域福祉課）オブザーバー※第2回広報委員会（R6.8.23）まで
小出 雅昭（神奈川県地域福祉課）オブザーバー※第3回広報委員会（R6.11.19）から

広報委員（令和7年12月1日から令和10年11月30日まで） ◎委員長 ○副委員長

相原 久花（小田原市主任児童委員）
○川西 早苗（逗子市主任児童委員）

石川 茂子 (厚木市主任児童委員)
 山口 文子 (清川村民生委員・児童委員)
 ◎高田 充康 (寒川町民生委員・児童委員)
 内藤 佐敏 (二宮町民生委員・児童委員)
 山崎 幸與 (山北町民生委員・児童委員)
 宮本 莉緒 (神奈川県地域福祉課) オブザーバー

③ 通信員連絡会 1回 経費：178,626円

開催期日	議 題
8.3.16 28名	1. 「県民児協だより」と通信員の役割について 2. 県民児協だより「通信員だより」の輪番表について 3. グループワーク (各市町村における広報活動) 4. 事務連絡

通信員 (令和4年12月1日から令和7年11月30日まで)

市町村名	通信員名	市町村名	通信員名	市町村名	通信員名
横須賀市	丸茂 喜久代	大和市	石口 恭子	大磯町	小島 美奈
平塚市	中山 裕史	伊勢原市	菅 重男	二宮町	森 清子
鎌倉市	大崎 美紀雄	海老名市	米田 光太郎	中井町	西尾 美嘉子
藤沢市	今福 民生	座間市	中村 由美	大井町	瀬戸 里美
小田原市	田邊 淳子	南足柄市	石川 京子	松田町	守屋 孝幸
茅ヶ崎市	佐藤 幸子	綾瀬市	堀 誠	山北町	加藤 君江
逗子市	竹見 美佐子	愛川町	中島 良一	開成町	熊澤 喜久恵
三浦市	山岸 義明	清川村	岩澤 正信	箱根町	芝 京子
秦野市	小澤 みつ江	葉山町	宮崎 進	真鶴町	織壁 志郎
厚木市	江良 泰成	寒川町	中村 昭雄	湯河原町	高橋 直道

通信員 (令和7年12月1日から令和10年11月30日まで)

市町村名	通信員名	市町村名	通信員名	市町村名	通信員名
横須賀市	佐久間 則夫	大和市	海老原 清一	大磯町	増尾 克治
平塚市	小玉 洋忠	伊勢原市	北原 眞知子	二宮町	内藤 佐敏
鎌倉市	見田 純子	海老名市	榮 芳朗	中井町	古宮 千恵子
藤沢市	辻川 健吾	座間市	横田 隆	大井町	小宮 喜代美
小田原市	稲毛 竹男	南足柄市	柏木 勤	松田町	府川 芳子
茅ヶ崎市	高田 陽子	綾瀬市	堀 誠	山北町	山崎 幸與
逗子市	田中 文子	愛川町	青木 八千代	開成町	鳥海 道江
三浦市	山岸 義明	清川村	山口 文子	箱根町	廣井 弘美
秦野市	吉澤 宏次	葉山町	小池 登志男	真鶴町	金子 美智代
厚木市	江良 泰成	寒川町	高田 充康	湯河原町	横井 勝己

(3) 市町村民児協事務局との連絡調整

① 市町村民児協事務担当者会議 2回 経費：53,350円

開催期日	議 題
7.5.30	【第1部】県・県民児協事業説明（市町村民児協向け） (1) 神奈川県民生委員児童委員協議会の概要について (2) 令和7年度年間スケジュール（案）について (3) 一斉改選にかかるスケジュールについて (4) 一斉改選にかかる連絡事項について (5) PR事業（本会HP含む）について (6) 互助事業について (7) 県地域福祉課からの事務連絡（証明事務等） (8) 民生委員・児童委員を対象とする助成事業について (9) 令和7年度地域版活動強化方策策定支援研修会（動画配信）について (10) 民児協関連書類について (11) 令和5～7年度『県民児協だより』原稿執筆分担について (12) 次回の市町村民児協事務担当者会議について（3月開催予定） 【第2部】民児協・行政合同情報交換（市町村民児協・行政向け） (1) 事前アンケート結果の共有（10分） (2) グループ討論 40分（情報交換：30分、全体共有：10分） テーマ1「令和7年度取り組み重点事項」 テーマ2「一斉改選に関すること」 ・一斉改選に向けて市町村民児協において取り組んでいることや課題について
8.3.18	【オンライン開催】 【第1部】県民児協事業説明（市町村民児協向け） (1) 令和8年度県民児協事業における各種助成事業について (2) 令和8年度役員会等年間予定について (3) 令和8年度全国大会・研修等の派遣について (4) 令和8年度神奈川県民児協互助事業給付金申請手続き予定表（案）について (5) 令和8年度民生委員・児童委員活動PR事業について (6) 令和8年度『県民児協だより』原稿執筆分担について (7) 令和8年度県民児協事業計画並びに収支予算（案）について 【第2部】民児協・行政合同情報交換（市町村民児協・行政向け） (1) 県および県民児協より事前アンケート報告 (2) グループ討論 「新任委員・期の浅い委員へのサポートについて（取り組みや今後の予定、課題など） →県民児協作成「期の浅い委員へのサポートに向けたヒント集」について

② 市町村民児協事務局向けの情報配信

各市町村民児協事務局へ、研修や会議の日程などの事務連絡を定期的に電子メールにより配信し、業務の円滑な推進を図った。

(4) 関係機関・団体との連絡調整

① 県行政と常任理事との懇談会 1回 経費：44,722円

本会常任理事と民生委員・児童委員の業務に関係の深い県地域福祉課との懇談会を開催し、委員活動に係る県の取り組みや課題等を報告いただき、協議題について意見交換を行った。また、横須賀市福祉総務課にオブザーバーとして参加いただき、県域での課題を共有した。

開催期日	議 題
7.8.14	1. 県地域福祉課より「神奈川県の取り組み」について 2. 横須賀市福祉総務課より「横須賀市の取り組み」について 3. 情報交換

② 児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議 1回 **経費：127,792円**

児童に関する問題について相談に応じる専門機関の県児童相談所と児童委員活動に関係の深い県子ども家庭課、横須賀市児童相談所と横須賀市こども支援課、地域を見守り児童相談所につなげる役割をもつ民生委員・児童委員で連絡調整を図る場として開催し、県域での課題を共有した。

開催期日	議 題
7.8.25	1. 県子ども家庭課より「神奈川県での取り組みについて」 2. 横須賀市こども家庭支援課より「横須賀市の取り組みについて」 3. 県中央児相より「神奈川県児相における相談・対応状況について」 4. 横須賀市児相より「横須賀市児相における相談・対応状況について」 5. 情報交換

(5) 会員慶弔事業の実施

① 県民児協互助事業 **経費：1,350,000円(給付金)**

会員及び配偶者に対して弔慰または見舞金の給付を行った。

区分	種別	件数(件)	金額(円)	退任記念品
死亡弔慰	公務死亡	—	—	—
	一般死亡※1	12	240,000	8
	配偶者死亡	31	310,000	—
傷病見舞	公務傷害※2	10	100,000	—
	公務疾病	—	—	—
	一般傷病	70	700,000	—
出産祝金	女性会員祝金	—	—	—
災害見舞	災害	—	—	—
小 計		123	1,350,000	
退任慰労※3	退任慰労	1,363	—	1,363
合 計		1,486	1,350,000	1,371

(※3)退任慰労は現金ではなく、退任記念品を全国互助事業から支給

② 全国互助事業 **経費：1,662,000円(給付金)**

全国民生委員互助運営要綱により、それぞれ給付を行った。

区分	種別	件数(件)	金額(円)
死亡弔慰	公務死亡	—	—
	一般死亡※1	12	360,000
	配偶者死亡	31	310,000
傷病見舞	公務傷害※2	10	310,000
	公務疾病	—	—
	一般傷病	70	682,000
災害見舞	災害	—	—
小 計		123	1,662,000
退任慰労※4	退任慰労	1,363	—
合 計		1,486	1,662,000

(※1)12件のうち4件は対象要件の任期3年以上に満たないため、退任記念品の給付はなし

(※2)対象者宅訪問時に段差を踏み外し転倒、アキレス腱断裂等

(※4)現金ではなく、退任記念品(クオカード)をお渡ししている

3年1期で退任 =2,000円

3年を超え9年未満 =3,000円

9年以上15年未満 =4,000円

15年以上 =5,000円

〔全国・県 合計給付状況内訳〕

市町村名	総件数				市町村名	総件数			
	給付金		退任 記念品	給付金		退任 記念品			
	金額(円)	件数		金額(円)			件数		
横須賀市	163	258,000	13	150	綾瀬市	47	150,000	6	41
平塚市	119	170,000	7	112	愛川町	23	0	0	23
鎌倉市	87	332,000	13	74	清川村	3	0	0	3
藤沢市	151	490,000	21	131	葉山町	15	20,000	1	14
小田原市	125	0	0	125	寒川町	12	20,000	1	11
茅ヶ崎市	115	260,000	9	106	大磯町	14	20,000	1	13
逗子市	19	20,000	1	18	二宮町	14	0	0	14
三浦市	23	0	0	23	中井町	18	0	0	18
秦野市	83	168,000	7	77	大井町	12	50,000	1	11
厚木市	98	318,000	12	88	松田町	14	0	0	14
大和市	73	270,000	9	67	山北町	20	0	0	20
伊勢原市	60	40,000	2	58	開成町	19	0	0	19
海老名市	60	158,000	7	53	箱根町	8	40,000	2	6
座間市	38	128,000	5	34	真鶴町	4	0	0	4
南足柄市	34	100,000	5	29	湯河原町	15	0	0	15
						1,486	3,012,000	123	1,371

注) 一般死亡かつ任期が3年を超える方には、給付金と退任記念品をお渡ししている。そのため、総件数は給付金及び退任記念品贈呈の対象者の実人数であり、給付金件数と退任記念品件数の合計ではない。

③ 全国共励事業の実施と協力

本会より全社協へ民生委員互助共励事業会費 8,396,100 円を納入し、全社協から 7,899,400 円の助成があった。本会では、全国共励事業の一環として全国指定民生委員児童委員協議会への助成を行い、また、地方事務費を本会の全国互助共励事業取扱に伴う事務費に充当した。

＜助成金の内訳＞ (単位：円)

種 別	金 額
互助事業	6,050,000 円
共励事業	523,700 円
地方事務費	1,325,700 円
合 計	7,899,400 円

このほか、全社協が共励事業の一環として発行した『民生委員・児童委員のひろば』等資料の配布を受けた。

2. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、単位民児協活動の強化

民生委員・児童委員活動の組織的基盤であり、拠点である地区民児協の充実強化を図るため、指定地区を中心に支援を行った。

(1) 地域福祉活動促進費の交付

民生委員・児童委員活動の充実を図るとともに、市町村民児協の自主的運営と組織整備を推進する事業並びに具体的福祉活動に対してその経費の一部として助成金を交付し、地域福祉の推進に努めた。

＜交付金総額＞ 9,885,500 円

① 地域福祉活動促進費使途内容

市町村名	内 容
横須賀市	【研修事業】 (1) 役員研修会・情報交換会 ○役員（常任理事・理事・監事）を対象とする研修会を開催 ■第1回役員研修会 ＜日 時＞令和7年6月26日 10時から10時30分まで

市町村名	内 容
	<場 所>総合福祉会館 2階 第2会議室 <出席者>38名 (内訳) (1)市民児協役員 36名(常任理事16名、理事18名、監事2名) (2)事務局 2名 <内 容> 「横須賀市版活動強化方策グループワーク」 ■第2回役員研修会 <日 時>令和8年1月23日 15時30分から16時30分まで <場 所>セントラルホテル 9階 パール <出席者>49名 (内訳) (1)市民児協役員等 47名(常任理事18名、理事27名、監事2名) (2)事務局 2名 <内 容> 「新任委員へのフォローについて・グループワーク」 ■第3回役員研修会 <日 時>令和8年3月16日 15時30分から16時30分まで <場 所>総合福祉会館 5階 視聴覚研修室 <出席者>49名 (内訳) (1)市民児協役員 47名(常任理事18名、理事27名、監事2名) (2)事務局 2名 <内 容> 「民生委員・児童委員活動について・グループワーク」 (2) 全民生委員児童委員研修会 横須賀市児童相談所との共催により、児童福祉の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的とし、全民生委員児童委員研修会を開催した。 <日 時>令和8年2月18日 13時30分～15時00分 <場 所>ヨコスカ・ベイサイド・ポケット <出席者>351人 (内訳) (1)民生委員児童委員 350名 (2)行政センター職員 1名 <内 容> (1)主催者挨拶 横須賀市民生委員児童委員協議会会長 君島 富美江 横須賀市児童相談所副所長 綿引 智子 氏 (2)講演 演題 「その一歩が子どもの命を守ります」 講師 東京都市大学人間科学部人間科学科 准教授 宮川 哲弥 氏 (3) 初任者研修会 令和7年12月に実施された民生委員児童委員一斉改選で新たに委嘱された民生委員児童委員や主任児童委員が、その活動に積極的に取り組むことができるよう基礎的な知識を習得することを目的とし開催した。 <日 時>令和8年2月26日 13時～16時30分 <場 所>総合福祉会館 7階 第1音楽室 <出席者>121人 (内訳) (1)民生委員児童委員 117名 (2)行政センター職員 4名 <内 容>

市町村名	内 容
	(1)横須賀市民生委員児童委員会長 挨拶 横須賀市民生委員児童委員協議会 会長 君島富美江 (2)民生委員児童委員の活動について 民生局福祉こども部福祉総務課 (3)災害時要援護者支援プランについて 市長室危機管理課 (4)生活保護と生活支援課の業務 民生局福祉こども部生活支援課 (5)ひとり暮らし登録等について 民生局福祉こども部介護保険課 (6)地域包括支援センターについて 民生局福祉こども部地域福祉課 (7)横須賀市の障害福祉施策 民生局福祉こども部障害福祉課 (8)子育て施策と子育て支援課の業務 民生局福祉こども部子育て支援課 (9)保護者支援と虐待防止 民生局こども家庭支援センターこども家庭支援課 (10) 児童相談所の概要 民生局こども家庭支援センター児童相談課 (11) 社会福祉協議会と地域福祉活動について (12) 個別援助票・活動記録・調査事務の取り扱いについて 横須賀市民生委員児童委員協議会事務局 (4) 民生委員児童委員大会 5月12日の「民生委員・児童委員の日」並びに5月12日から5月18日の「民生委員・児童委員活動強化週間」の取り組みの一つに位置付け、市内の民生委員児童委員が一堂に会して、委員としての基本的な職務や自らが地域で果たし得る役割を見つめ直し、関係行政機関や地域関係者との協働のもとに地域福祉を推進していくことを目的として開催した。 <日 時>令和7年5月19日 13時30分から15時まで <場 所>ヨコスカ・ベイサイド・ポケット <内 容> 【第一部】式典 (1)主催者あいさつ 横須賀市民生委員児童委員協議会会長 (2)来賓祝辞 横須賀市長、横須賀市議会議長、横須賀市社会福祉協議会会長 (3)来賓紹介 【第二部】 講演 「災害時の避難所の実際」 講師 一般社団法人 日本DMORT 理事 野口 理恵子 氏 <出席者>393人 (内訳) (1)民生委員児童委員 370名 (2)来賓 13名 (3)横須賀市職員 5名 (4)事務局 5名 【実践事業】 (1) 広報啓発活動 (1)ふれあいミニサロン運営 市民に民生委員児童委員活動について周知することを目的として参加した。 <日 時>令和7年6月1日

市町村名	内 容
	<場 所>総合福祉会館 2 階市社協第 2 会議室内「民生委員児童委員協議会ブース」 <内 容> 「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル 2025 に参加し、民生委員活動の周知等を目的に「ふれあいミニサロン」を開催。押し花作り、輪投げ、ボール入れ、昔遊び（お手玉、けん玉、紙風船など）を来場者と実施するとともに、民生委員活動の PR のためのチラシ等を配付した。また、神奈川県社会福祉協議会民生委員児童委員部会作成の PR 動画を放映した。来場者数 500 人以上。 (2) P R 活動・研修事業で活用するため、パネル・イーゼルを購入 (2) 部会活動 研究広報部会、在宅福祉部会、児童福祉部会の各部会を開催し、会議や研修を行った。 ■研究広報部会 部会会議：7 回（編集・校正作業含む） (1) 令和 7 年 5 月 29 日 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (2) 令和 7 年 6 月 25 日 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (3) 令和 7 年 7 月 22 日 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (4) 令和 7 年 8 月 5 日 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (5) 令和 7 年 9 月 24 日 総合福祉会館 4 階ボランティアセンター第 3 活動室 (6) 令和 8 年 1 月 29 日 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (7) 令和 8 年 3 月 25 日 総合福祉会館 4 階ボランティアセンター第 3 活動室 正副部会長会議：3 回 (1) 令和 7 年 5 月 23 日 総合福祉会館 市社協第 1 会議室 (2) 令和 7 年 8 月 4 日 総合福祉会館 市社協第 1 会議室 (3) 令和 7 年 8 月 27 日 総合福祉会館 市社協第 1 会議室 よこすか民児協会報発行 (1) 第 99 号 令和 7 年 5 月 1 日発行 (2) 第 100 号 令和 7 年 11 月 1 日発行 ■在宅福祉部会 部会会議：3 回 (1) 令和 7 年 5 月 20 日 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (2) 令和 7 年 8 月 19 日 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 (3) 令和 8 年 2 月 19 日 総合福祉会館 市社協第 2 会議室 正副部会長会議：1 回 (4) 令和 7 年 7 月 22 日 総合福祉会館 市社協地域福祉課 ■児童福祉部会 施設見学会：1 回 令和 7 年 6 月 24 日 横須賀市学校給食センター 部会研修会：1 回 令和 7 年 10 月 21 日 総合福祉会館 5 階 視聴覚研修室 部会会議：1 回 令和 8 年 2 月 24 日 総合福祉会館 5 階 視聴覚研修室 (3) 事務費 (1) 研修・部会開催に伴う事務用品、郵送料等 (2) P R 活動・研修事業で活用するため、大型モニター・モニタースタンドを購入
平塚市	1 常任理事会 4/10 市役所 ①令和 6 年度事業報告及び決算について ②令和 7 年度事業計画（案）及び予算（案）について ③令和 7 年度総会・研修会について 10/27 市役所 ①一斉改選に伴う各種協議 ②活動ハンドブックの改訂について

市町村名	内 容
	③活動費交付金、地区民児協補助金について ④街頭 PR の代替案について 12/25 市役所 ①各種委員の選出について ②新任委員研修会について ③理事研修会について ④令和 8 年度スケジュールについて ⑤慰問事業等の見直しについて ⑥令和 7 年度予算の執行状況について ⑦その他（PR 活動、アンケート調査等） 3/17 市役所 ①令和 7 年度の決算見込みについて ②令和 8 年度上半期の事業、総会・研修会について 2 地区会長会議・理事会 4/3 ①「民生委員・児童委員選任要領」の一部改正について ②ひとり暮らし高齢者調査について（依頼） 【理事会】 ①街頭 PR 活動について 5/1 ①生計困難世帯の小・中学生修学旅行等支度費の配付について（依頼） ②生計困難世帯の夏期慰問金該当世帯の調査について（依頼） 【理事会】 ①令和 6 年度事業報告及び決算、監査報告について ②令和 7 年度事業計画（案）及び予算（案）について 6/5 ①避難行動要支援者名簿の更新等について（依頼） ②避難所運営委員会への民生委員児童委員の参画について ③夏期慰問品配付に関する調査について（依頼） 7/3 ①夏期慰問金の配付について（依頼） ②子育て応援団体情報の提供について 8/7 ①寝たきり高齢者等への慰問品の配付について（依頼） 【理事会】 ①個別援助票の集計について 9/4 ①親子であそぼうフェスティバルのチラシ配布について（依頼） ②生活福祉資金借受世帯支援記録票整備状況報告について（依頼） ③赤い羽根共同募金街頭募金への協力について（依頼） 【理事会】 ①民生委員児童委員活動における事故防止について 10/2 拡大会議 ①一斉改選に係る今後のスケジュールについて ②避難行動要支援者名簿追加分の配付について ③年末慰問金対象生計困難世帯の調査について（依頼） ④一般遺児激励金支給対象児の調査について（依頼） 11/6 ①ひとり暮らし高齢者調査について ②「民生委員児童委員の個人情報提供に関する同意書」及び「法令等の順守に関する宣誓書」の提出について（依頼）

市町村名	内 容
	③生活福祉資金民生委員活動費の交付について 【理事会】 ①活動費交付金の振込方法の変更について 12/4 ①地区会長会議及び市民児協理事会の趣旨及び進め方について ②活動費交付金の口座振込に係る口座情報の提出について（依頼） ③多頭飼育崩壊等の不適切飼育防止に関する事業について（依頼） ④生計困難世帯への年末慰問金の配付について（依頼） ⑤一般遺児激励金の配付について（依頼） ⑥冬期慰問品配付に関する調査について（依頼） 【理事会】 ①会長、副会長、常任理事、会計、監事の選出について ②市社会福祉協議会の役員等の選出について 1/8 ①民生委員児童委員受章者の紹介 ②小・中学校入学祝金及び中学校卒業祝金の支給対象調査について（依頼） ③交通遺児等激励金支給対象児の調査について（依頼） 【理事会】 ①慰問金等配付事業の見直しについて ②アンケート調査について 2/5 ①避難行動要支援者名簿追加分の配付について ②令和8年度 ひとり暮らし高齢者調査について ③子育て支援事業に係る開催状況及び保育士派遣希望調査について（依頼） ④冬期慰問品の配付について（依頼） 3/5 ①特殊詐欺被害防止に向けた「でんわんシール」の貼付及び声掛けへの協力依頼について（依頼） ②高齢者等の消費者被害未然防止への御協力について（依頼） ③小・中学校入学祝金及び中学校卒業祝金の配付について（依頼） ④交通遺児等激励金の配付について（依頼） ⑤小・中学生修学旅行等支度金支給対象児の調査について（依頼） 3 監事会 4/15 ①令和6年度平塚市民生委員児童委員協議会 事業報告 ②令和6年度平塚市民生委員児童委員協議会 収入支出決算 ③監事による監査並びに講評 4 総会 5/22 ①令和6年度事業報告及び収入支出決算 ②令和6年度監査報告 ③令和7年度事業計画（案）及び収入支出予算（案） 5 啓発活動 5/12 平塚駅周辺 街頭PR活動 5/8～15 ららぽーと湘南平塚 民生委員児童委員活動パネル展 6 研修会 5/22 平塚市主催 全体研修会【参加者数 329 名】 テーマ：民生委員児童委員活動のポイント～実践事例から学ぶ 10/28 県社協 オンライン情報交換会（zoom）【参加者数 1 名】 テーマ：期の浅い委員への支援に向けて～各民児協リーダー層としての役割を考える

市町村名	内 容
	10/30、31 全民児連 全国民生委員・児童委員リーダー研修会【参加者数1名】 12/19 県 新任委員研修【参加者数 会場25名 動画視聴39名】 2/25 県 テーマ別研修Ⅰ【参加者数 会場7名 動画視聴52名】 テーマ：高齢者の消費生活トラブルを地域で防ぐ～民生委員にできること 3/2 県 テーマ別研修Ⅱ【参加者数 会場12名 動画視聴29名】 テーマ：民生委員活動における個人情報の保護 3/9 県 会長部会長研修【参加者数 会場8名 動画視聴12名】 テーマ：単位民児協リーダーの役割 3/25 市民児協 新任民生委員児童委員研修会 【参加者数 92名】 テーマ：民生委員児童委員の役割と心構え 生活福祉資金貸付制度について 県民児協事務局からのお知らせ 3/30、31 市民児協 理事研修会 【参加者数1日目18名・2日目12名】 【1日目】①地区民児協の運営について ②会長の役割とマネジメントについて 【2日目】①アンケート調査の結果に関して ②アンケート調査の結果に関する意見交換・情報交換 7 専門部会及び連絡会 【広報部会】 5/8～15 ららぽーと湘南平塚 民生委員児童委員活動パネル展 5/12 平塚駅周辺街頭 PR 活動の実施 6/24 市役所 ひらつか民児協だより第38号の編集会議① 8/29 市役所 ひらつか民児協だより第38号の編集会議② 10月初旬 ひらつか民児協だより第38号の発行 10/16 市役所 ①市民児協だより38号の発行報告 ②次期広報部会への申し送り ③PR活動の充実など 【高齢者部会】 7/22 市役所 ①ひとり暮らし高齢者調査について（市高齢福祉課） ②市高齢福祉課との情報交換・意見交換 10/24 市美術館 ①地域包括支援センターと民生委員の関わりについて ②3年間の振り返り ③情報交換・意見交換 ④次期の高齢者部会への申し送り 【心身障がい者部会】 7/24 市中央図書館 平塚市障がい者団体連合会との情報交換会 【児童部会】 9/22 市役所 ①児童部会活動指針及び三ヵ年計画の再確認 ②活動団体から学ぶ、子ども子育て支援～活動の意味・児童委員として考えること ③なぜ子ども食堂、なぜ学習支援を（講師：佐藤 由美子 氏） ④情報交換・意見交換 11/4 市役所 ①講義「平塚市こども計画」（講師：市保育課） ②3年間の児童部会活動を通して～児童委員（活動）とは？ 児童委員としての心、これから ③情報交換・意見交換・まとめ（活動の振り返り） 【主任児童委員連絡会】 4/24 勤労会館 児童・生徒指導担当者会への参加 ①中学校区ごとの顔合わせ・情報交換

市町村名	内 容
	②小・中学校別分科会（情報交換等） 6/20 市中央図書館 ①報告（市こども家庭課） ・状況報告 ・ヤングケアラーについて ②市立保育園等園長、市こども家庭課との情報交換 ・意見交換 8/28 レストラン大原 ①講義（講師：神奈川県平塚児童相談所） ②情報交換・意見交換 10/23 市中央図書館 ①3年間の振り返り ②次期主任児童委員連絡会への引継ぎ事項 12/1 市中央公民館 臨時連絡会 ①代表・副代表の選任について 2/17 市中央図書館 ①市こども家庭課より ②自己紹介・顔合わせ ③令和8年度事業計画について ④情報交換・意見交換
鎌倉市	【地域福祉活動促進事業】 地域福祉活動の充実強化を図るため、経費の一部を交付しました。 【実践事業】 3つの研究班の活動に対する助成を図りました。 ・提案班 会議6回。昨年度に引き続き、「民生委員のなり手を増やす」の目標に基づいてなり手不足解消に向けた施策内容を検討し、実施した。市のLINEと民生委員のホームページを使って、興味のある方から問い合わせ申し込みをもらい、実際に会って面会を行った。 ・広報班 会議8回。民生委員が周囲に認知される方策の検討と実施。地下道ギャラリーにてポスターの展示、また『社協だより』に掲載する民生委員の活動紹介記事『みんな通信』を作成、各地区民生委員を通して自治会掲示板にて掲示した。 ・福祉班 会議7回。テーマ「支え合い活動を通しての地域づくり」「生活支援コーディネーターとの関わりを持ち、地域支援を考える」に基づいて各地区での取り組みをまとめ、福祉への理解を深めた。

市町村名	内 容
藤沢市	(1) 研修事業 ○地区民児協 バス視察研修（国立ハンセン病資料館、東日本成人矯正医療センター等） ○地区民児協 研修会（災害・防災等） ○交換民児協（16 地区民児協内で毎年 2 地区のペアを組み行う研修・意見交換・交流事業） (2) 調査事業 ○実施高齢者世帯現況調査（6 月訪問調査） 対象者：75 歳以上のひとり暮らし高齢者・高齢者世帯、在宅寝たきり高齢者訪問調査時の配布資料（困ったときの安心電話帳、委員 P R 活動資料、連絡先カード等）の作成費 (3) 研究事業 ○指定民児協費 地域課題の解決や、地区民児協の機能強化等のための研究や事業を行い、終了年度の翌年度に取組結果を報告する。令和 7 年度指定：鵠沼東地区、村岡地区 (4) 実践事業 ○地区四部会等 活動 ・ 高齢者福祉対策部会（高齢者施設についての研修、特養睦愛園見学、介護保険についての研修、高齢者施設の運営推進会議への参加等） ・ 障がい者福祉対策部会（障がいの基礎知識、障がい者雇用事業所訪問、湘南希望の里施設訪問、紅梅園施設訪問、心のバリアフリーについて講演会等） ・ 生活福祉対策部会（ヤングケアラーについて、軽費老人ホーム見学、特別養護老人ホーム見学、地域ささえあいセンター見学、生活困窮者自立支援について座学研修、検討会 等） ・ 児童福祉対策部会（児童養護施設見学、子ども食堂見学、地域こどもの家見学、子育てサロン、子育て支援センターへの協力等） ○地区民児協事業（米作り委員会の活動、一人暮らし高齢者慰問品購入 等） (5) 住民福祉を実践していくうえで必要な経費 ○地区民児協活動記録冊子、会報の作成 ○民生委員 児童委員 ポスターの作成 ○ボランティアに係る備品購入費 等
小田原市	【研修事業】 ○全体研修会 民生委員児童委員が一堂に集まり、資質の向上や地域福祉活動の参考にするため研修会を実施した。 ○ブロック研修 各委員の資質向上を図るために、市内 26 地区民児協を 6 ブロックに分け、それぞれテーマを決めて研修会を実施した。一部ブロックではインフルエンザ等の感染症まん延防止の観点より中止。 ○各種福祉団体が主催する研修会への参加 県民児協、県・市社協が開催する研修にオンライン会議等で参加し、民生委員児童委員の活動に必要な知識の習得と資質の向上に努めた。 【共励事業】 ○民生委員児童委員大会 民生委員児童委員が一堂に集まり、民生委員児童委員としての職務を再認識し、その活動の更なる推進を目指して開催した。（令和 7 年 7 月 17 日に実施） 【部会活動事業】 ○部会活動 児童部会はグループワーク等行い、他地区の委員と情報交換を行い、知識の修得に努めた。また、心配ごと相談部会については、市が行う心配ごと相談事業に協力し、市民生活の安定に努めた。
茅ヶ崎市	(1) 住民福祉を実践していくうえで必要な経費 【地区民児協活動費】

市町村名	内 容
	○地区研修会、勉強会、情報交換会 ○施設研修会 【保険加入交付金】 ○保険加入に係る助成 (2) 実践事業 【部会活動費】 ○高齢福祉部会 代表者会議 5 回、研修会・講演会 3 回 ○障がい福祉部会 代表者会議 7 回、研修会・講演会 3 回 ○児童福祉部会 代表者会議 6 回、研修会・講演会 3 回 ○主任児童委員連絡会 連絡会 11 回（研修会・講演会 5 回含む）ほか 【広報費】 ○市民児協広報紙「おひさま」第 15 号を令和 8 年 3 月 1 日付で発行。 発行部数：90,000 部 配布先：全戸配布、市内公共施設ほか ○主任児童委員パンフレット作成 配布先：市内小中学校新入学生徒保護者 【旅費】 ○神奈川県民生委員児童委員協議会 総会及び研修会出席
逗子市	【部会活動費】 ○高齢者福祉部会・・・会議 3 回、研修 1 回（音楽を通しての認知症予防） ○障がい者福祉部会・・・会議 3 回、研修 2 回（鎌倉はまなみ見学、障がいに関する勉強会） ○児童福祉部会・・・会議 3 回、研修 1 回（鎌倉児童ホーム訪問）、他団体（親子ひろば）への協力・支援、離乳食教室支援 ○主任児童委員連絡会・・・会議 12 回、主任児童委員・子ども相談員・鎌倉三浦地域児童相談所職員の情報交換会 12 回、ずし子ども 0 円食堂支援、他団体（親子ひろばへの協力・支援、離乳食教室支援赤ちゃん訪問支援等
三浦市	【研修事業】 ○民生委員児童委員協議会活動の円滑な推進と民生委員・児童委員の資質の向上を図るため、県民児協等が開催する研修会に参加した。 【住民福祉を推進していくうえで必要な経費】 ○地区民児協並びに主任児童委員の活動に対し助成を行い、活動の活発化を図った。 ○地区民児協の主な活動 ・地域における見守り活動 ・小中学校と連携した学童、生徒の見守り等 ・行政及び社会福祉協議会と連携した福祉サービス利用援助 ○主任児童委員の主な活動 ・子育てサロン「ほっと＊ハート」の開催 ・「赤ちゃん訪問」による地域の子育て家庭の把握
秦野市	【研修事業費】 研修事業 (1) 「こどもまんなか社会における民生委員・児童委員活動とは」（全体研修） 講師：社会福祉法人 至誠学舎立川 理事 高橋久雄 氏 (2) 「認知症高齢者の実態（人数）と予防（取組）について」（常任理事研修） 「民生委員として、認知症高齢者及び認知症の疑いのある高齢者に直面した場合の対応など」講師：市高齢介護課課長代理 金井ひかり 氏 (3) 県民児協等が開催する研修会へ参加（希望者） 【調査事業費】 調査事業 (1) 全民児連発行の災害に備える民生委員・児童委員による災害時要援護者支援活動に関する指針【改訂第 4 版】に基づき、「災害時民生委員児童委員活動マニュアル」（第 4 版）を発行。災害時は、自らの命、安全を守ることが最優先であるという点をあ

市町村名	内 容
	らためて認識し、日頃の地域の見守り・支援活動に取り組みました。 (2) こんにちは赤ちゃん訪問事業に協力（市主催事業） (3) ひとり暮らし高齢者等登録に協力（市主催事業） (4) 在宅高齢者等緊急通報装置貸与事業に協力（市主催事業） 【住民福祉を実践していくうえで必要な経費】 広報活動 (1) 広報紙「まなざし」を年2回発行し、民生委員に配布するとともに公共施設に配架するほか、教育・福祉関係者への配布や自治会組回覧を行いました。 (2) タウンニュースへ記事の掲載、また、「活動強化週間」に併せて秦野駅のデジタルサイネージでのPR動画を放映（改選年のため例年より長い3か月間）するとともに、広報はだの5月1日号に特集記事を掲載しました。さらに、毎月2地区ずつ市の公式LINEを活用し地区の活動の様子をお知らせしました。 (3) 11月の児童福祉推進月間に、虐待防止への願いを込めたハート型メッセージカードを飾ったオレンジリボンツリーを保健福祉センターに展示、併せてリーフレット及び啓発物品を配架しました。また、市民の日に民生委員・児童委員コーナーを設け、児童虐待防止及び民生委員・児童委員PR活動を行いました。 【実践事業】 各部会・部活動 (1) 地域援護部会：会議5回、勉強会2回①「避難所運営委員の役割」講師：市防災課職員、②「生活保護受給するための申請条件等」講師：市生活保護課職員 (2) 高齢部会：会議4回、勉強会1回①「在宅福祉サービスについて等」講師：市高齢介護課職員 (3) 障害部会：会議3回、勉強会3回①「発達障害の理解と支援について」講師：一般社団法人Free and Fitness代表理事ほか、②「アルコール依存当事者の体験談と平塚秦野保健福祉事務所秦野センターの役割」講師：湘南平塚断酒新生会会長、平塚秦野保健福祉事務所秦野センター職員、③「重度障害者支援の現状と家族の思い」講師：秦野市手をつなぐ育成会会長「医療的ケア児の現状と支援について」講師：社会福祉法人常誠福祉会みなせ相談支援センター職員 (4) 児童部会：会議3回、勉強会1回①「スクールソーシャルワーカーの役割と支援」講師：神奈川県教育委員会教育局中教育事務所スクールソーシャルワーカー、合同研修1回「秦野市の外国籍児童・生徒の現状と課題について」講師：上智大学短期大学部教授ほか (5) 主任児童委員部：会議6回、勉強会1回①「スクールソーシャルワーカーについて等」講師：神奈川県教育委員会教育局中教育事務所スクールソーシャルワーカー、11月児童虐待防止推進月間にオレンジリボンツリー（保健福祉センター）設置、市民の日にイベント開催、啓発物等の配架 (6) 広報部：会議12回、民児協だより年2回発行（4・10月）組回覧
厚木市	【研修事業】 ・全員研修会（1回） 県央ブロック大規模研修会と合同で実施。 ・地区研修（13回） 各地区の研修支援 【実践事業】 ・施設ふれあい部会（会議開催2回・研修開催1回） 会議・情報交換、研修 ・高齢部会（会議開催2回・研修開催1回） 会議・情報交換、研修 ・児童部会（会議開催2回・研修開催1回） 会議・情報交換、視察研修

市町村名	内 容
	【住民福祉活動を推進していく上で必要な経費】 各地区民児協（15 地区）ごとに実施 ・ ボランティア広報啓発活動 ボランティア活動・福祉のまちづくり運動の推進、ボランティアの発掘、把握、育成。地域包括支援センター及び地区地域福祉推進委員会並びに地域ボランティア等と連携し、在宅高齢者等の把握と支援活動を実施。 ・ 施設ふれあい活動
大和市	【研修事業】 ・ 役員研修 講師謝礼金 【調査事業】 ・ 生活福祉部会・・・要援護者に必要な援助を行うため、生活福祉に関する研修会やグループワークでの事例検討を実施した。計 4 回実施。 ・ 児童委員部会・・・大和綾瀬地域児童相談所や市すくすく子育て課との情報交換会を行い、行政との連携強化を図ったほか、主任児童委員同士の情報交換や研修を行った。計 7 回実施。 ・ 広報部会…………委員相互理解を深めるため、民生委員だより「しらかし」を年 2 回発刊。計 6 回実施。 【住民福祉を推進していくうえで必要な事業】 ・ 地区民児協活動費の交付 ○高齢者世帯に対する安否確認を目的とした訪問活動。 ○子育てサロンの開催。 ○低所得者に対する相談援助。 ○地区民児協の研修会。 ○地域住民に対する相談・支援活動。
伊勢原市	【地域福祉活動促進事業】 ○総 会 令和 6 年度事業報告及び収支決算報告 令和 7 年度事業計画及び収支予算審議（4 月 23 日） ○研修事業 「市民同士が支え合う」～私たちの老後どうする・どうなる？～をテーマに全体研修会の実施（2 月 12 日）その他、市教育委員会及び市社会福祉協議会などが開催した研修会・講演会等に参加（人権啓発研修会、男女共同参画フォーラム、社会を明るくする運動講演会など） ○会 議 役員会：毎月 25 日前後開催 主任児童委員連絡会：毎月 27 日前後開催 役員・主任児童委員意見交換会（7 月 25 日・1 月 23 日） ○福祉専門部会 高齢者・障がい者・児童各福祉専門部会「全体学習会」及び各地区では研修会の実施 ○広報活動 ・ 民生委員児童委員の日、「市役所市民ホール」にて活動内容の展示（5 月 12 日～16 日） ・ 市社会福祉協議会発行の情報誌「社協だより」（年 4 回全戸配布）に活動報告掲載 ・ 「道灌祭り」啓発活動（10 月 4～5 日の二日間パンフレットなど配布） ・ 各地区で開催された「公民館まつり」啓発活動 ○「活動記録記入ガイドライン」の作成配布 （全 8 回委員会を開催し令和 7 年 12 月 1 日から活用） ○地域福祉推進活動・子育て支援事業保育クラブ（保育クラブ、運営、地域、子育てグループ支援） ・ 小中学校登下校見守活動（市内各小中学校） ・ 高齢者声掛け事業・障害者声掛け事業

市町村名	内 容
海老名市	【広報誌発行】 ○広報「ふれあい」を2回発行した。 ・98号（令和7年7月1日発行） 市内自治会加入世帯及、民生委員把握家庭、公共施設等に配布した。 ・99号（令和7年12月10日発行） 全戸配布した。
座間市	(1) 研修事業 ・全体研修会 ・講師を依頼し全体研修会を実施。 ・会議 ・全体研修等に係わる会議を実施。 (2) 実践事業 ・委員会活動 ○主任児童委員会…会議6回 視察研修の実施や毎月第2・4土曜日に子育てひろば「よちよち」を開催。 (3) 住民福祉を推進していくうえで必要な経費 ○ 広報委員会…会議11回 ・施設や行事等取材し、市民児協広報紙「こぼと」の発行にあたる。 ・「民生委員児童委員の日」活動強化週間に合わせてパネル展を実施。 ・ふるさとまつり参加事業にて、パネル展を実施。また、来場者に対して、市民児協広報誌「こぼと」とバルーンアートを配布。
南足柄市	○調査・研究事業 避難行動要援護者実態調査 （高齢者部会）情報交換会、介護付き有料老人ホーム視察 （障がい者部会）情報交換会、就労支援施設視察 （子ども部会）情報交換会、児童養護施設視察 （主任児童委員部会）関係機関との情報交換会、児童養護施設視察 ○研修事業 （障がい者部会）障害者施設の模擬店協力 （子ども部会・主任児童委員部会）児童福祉施設視察研修 ○実践事業 （高齢者部会）一人暮らし高齢者へ年賀状発送、85歳以上の一人暮らし高齢者へ花の鉢プレゼント （主任児童委員部会）新生児訪問事業 ○住民福祉を实践していくうえで必要な事業（民生委員PR・その他奉仕事業等） （主任児童委員部会）3ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児健診時『子育て応援します』パンフレット配布、子育てサロン協力 ○（子ども部会、主任児童委員部会） 「なかよしフェスタ」イベント開催
綾瀬市	【研修事業】 1 理事研修会の開催 地区民児協正副会長及び主任児童委員会正副委員長に対して研修会を開催し、資質の向上を図った。 7月・日帰り視察研修 【研究事業】 1 理事会の開催 毎月1回理事会を開催し、民児協の運営方法、各種事業への取組等協議・検討を行い、組織活動の充実を図った。 2 各地区における研究・活動 地域の福祉ニーズを的確に把握し、その特徴にあった独自の活動を展開した。 【実践事業】 委員会（研修委員会、広報委員会、主任児童委員会）による専門的な特性を生かした各種の関連事業を実施し、地域福祉向上を図った。

市町村名	内 容
愛川町	【地区別研修事業＜地区民児協活動＞】 地区ごとに会議等を開催し、地区の要援護ケースの事例研究や活動報告などの情報交換を行った。 【専門別研究事業＜専門部会活動＞】 各部会（児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉の３部会）及び主任児童連絡会等により、会議や研修会などを開催し、専門知識の修得と研修を行った。 その他自主活動として、地域の民生委員及び活動内容を紹介するため、広報誌を作成し、周知を図った。 【モニター事業】 ねたきり高齢者、認知性高齢者、ひとり暮らし高齢者などの世帯を訪問し、本人をはじめ、家族等の実態やニーズの調査及び把握を行った。
清川村	【訪問活動事業】 各担当地区内の要援護者等に対する訪問活動及び他団体が実施する事業への賛助活動
葉山町	【研修事業】 ○全体研修…６月１８日 民生委員児童委員全員を対象とした研修の実施 場所：横浜税関及び海上保安資料館 参加者：３０名 ○全体研修…１０月８日 民生委員児童委員全員を対象とした研修の実施 場所：川崎エコ暮らし未来館 参加者：３１名
寒川町	【地区事業】 〈南部〉 地区定例会・地区研修・町外研修（計４回） 報告・協議及び情報交換等/今後の活動取り組みについて/横溝千鶴子記念子育て支援総合センター「めばえ」施設見学/３年間の活動を振り返って/今まで培ってきた民生委員活動について 〈中部〉 地区定例会・地区研修・町外研修（計４回） 地区協議会、引き継ぎ等活動の取組についての話し合い/報告・協議及び情報交換等/災害時の対応について/３年間の活動を振り返っての話し合い/令和８年度予算、事業計画の検討/一年を振り返って 〈北部〉 地区定例会・地区研修・町外研修（計４回） 報告、協議、依頼事項/継続的な委員活動をするためなどの取り組み/大磯町民児協との交流（グループワーク）/組織運営、定例会などの内容のやり方について/活動の振り返り、次年度計画について 【部会事業】 〈児童部会〉（５回） ・学校訪問：一之宮小学校/旭小学校 ・施設見学：児童養護施設/母子生活支援施設 ・部会：令和８年事業計画及び予算について 〈高齢者部会〉（４回） 研修：これからの高齢者社会の実情と部会の中にある限界集落を取り巻く老いの現実から民生委員活動の一助になるよう勉強会/部会の知る活動を実施してきたことを通じて皆さんの感じたことなどをまとめとした会議 会議：懇親会並びに部会活動についての意見交換会/顔合わせ、部会開催計画と予算について 〈障がい者部会〉（１０回） ・施設行事協力：福祉活動センターまつり参加・協力 ・研修：視覚障がい者に講師をお願いし、日常の生活について学ぶ（社協経由で講師を依頼）（再掲）/支援学校の音楽祭（きらきらちゃんぷる）を通して日常の成果を学ぶ ・部会：本年度の活動について/視覚障がい者に講師をお願いし、日常の生活について

市町村名	内 容
	学ぶ（社協経由で講師を依頼）/3年間の振り返り・反省等、話し合い/3役選出と自己紹介 ・3役打ち合わせ：令和8年度事業計画について/令和8年度事業計画と予算について/令和7年度の決算書のチェックと事業報告書について 〈編集部会〉（9回） ・各自事業：広報誌（ほっこり通信 No.8）の内容確認・資料収集・検討・構成 ・ふれあい福祉フェスティバル：ほっこり通信 No.8 配布/活動写真パネル作成・展示 ・定例会：ほっこり通信 No.8 配布/SMJK Vol.14 発行・配布 ・部会：ほっこり通信 No.8 の内容検討・内容(案)検討/内容確定・原稿校正/確定/SMJK Vol.14 原稿作成・構成/ふれあい福祉フェスティバル パネル展示準備/令和7年度反省会 〈主任児童委員部会〉 ・子育てひろば 毎月1回（3か所） 保健師による計測と相談の受付、お母さんと赤ちゃんの遊び場の提供 ・寒川町子どもサポートネットワーク会議 偶数月：乳幼児・学齢児合同部会 奇数月：乳幼児援助活動ミーティング ・視察研修 年1、2回 主任児童委員としての勉強のため ・父親・母親教室 年5回 主任児童委員のPR ・子どもの安心安全を見守る推進委員会 年1回 ・学校運営協議会 年2～3回（各小中学校） ・青少年問題協議会 年2回 ・寒川町子どもサポートネットワーク会議・代表者会議 年1回 ・子育て関連施設・障害者相談支援事業所合同ワークショップ 年1回 ・子ども子育て会議 年2回 ・主任児童委員活動推進会議 年1回 ・苦情解決体制第三者委員会 年2回 ・ブックスタート 年数回（絵本の読み聞かせ） ・入学式/卒業式 4月、3月（各小・中学校へ列席） ・部会・研修 11月 星槎学園見学子どもと扉 6月10日（施設見学） ・部会 年2回（活動の確認と分担決め）
大磯町	【福祉活動事業】 ・自主事業 活動強化週間（パネル展示） 5月 高齢者宅への個別訪問 6月から3月 大磯町民生委員児童委員たより 年1回発行 ・研修会 普通救命講習会 7月 講演研修 3月 事例発表会 6月・1月 ・町福祉事業協力 敬老祝金品配布協力 9月 ・町子育て支援事業協力 にこにこ子育て応援団 通年 ・委員会活動 企画運営委員会 月1回開催（計12回） 広報委員会 展示パネル作成、たより作成等（計6回） 防災委員会（計3回）町訓練に併せて安否確認訓練実施 ・部会活動 高齢者部会 研修等7回 児童部会 研修等8回 障がい者部会 研修等11回 地域福祉部会 研修等9回、社会を明るくする運動

市町村名	内 容
二宮町	【啓発事業】 (啓発活動) 二宮町ふれあい福祉のつどい等で使用する啓発物品の購入 【研修事業】 (全体) 日時 令和7年5月9日 13:00～14:45 場所 二宮町町民センター 2A クラブ室 内容 「災害時におけるトイレ対策について」 講師 NPO 法人日本トイレ研究所 島村允也 日時 令和7年10月21日 場所 本所防災館 東京都墨田区横川 4-6-6 内容 防災体験研修
中井町	【研修事業】 ○全体研修 ○役員研修 ○主任児童委員研修 ・県民児協等の各種研修会への出席（役員、主任児童委員他） ・福祉施設等への視察研修（全体）…9月 【調査・研究事業】 ○中村上地区 …地区委員連絡会（4回）、町長との懇談会、障害者施設事業への奉仕活動 ○中村下地区 …地区委員連絡会（4回）、視察研修、町長との懇談会 ○井ノ口地区 …地区委員連絡会（6回） 【実践活動】 ○高齢・障がい福祉部会 ○児童福祉部会 ・「民生委員児童委員の日」にあわせて、町内各小中学校の校門前にて、児童の見守り・あいさつ運動（全体） ・町社協事業への協力…心配ごと相談（全体）、事業への協力 ・高齢・障がい福祉部会…視察研修、情報誌の作成 ・児童福祉部会…視察研修、定例会（全5回）、ブックスタートへの参加協力（年6回）、歯科検診への参加協力（年6回）、子育て支援センター事業への協力、学校行事への参加（2回） ・こんにちは赤ちゃん訪問活動（主任児童委員）
大井町	【研修事業】 ○視察研修（東京都） ・国立ハンセン病資料館、多摩全生園 ○全体研修 ・生活保護について ・終活、後見制度について（あしがら後見センター出前講座） ・訪問活動について 【実践事業】 ○高齢者部会…学習会、施設見学（地域密着型特養・小規模多機能・グループホーム） ○障がい者部会…学習会、施設見学（就労継続支援B型） ○児童部会…学習会、施設見学（こども園、子育て支援センター） ○民児協活動の啓発…町施設に活動内容を記載した模造紙を提示

市町村名	内 容
松田町	【管理運営費】 1. 会議 ①年次総会、②定例会（12回）、③役員部会長会議（1回） ④本部役員会（12回） 2. 旅費 県民児協、県社協その他各研修会等への参加 3. ボランティア事故共済保険加入 【活動費】 1. 分野別専門部会（高齢者、児童、障がい児者）、地域部会（第1～第4）、それぞれの分野別共通の課題の事例検討、情報交換、研修、支援活動 等 2. 担当地域の要援護者、要見守り対象者の実情把握、調査の再点検（特に災害時、要支援対象者の対策のため、自治会等と協力して災害時支援体制の確立を図る。） 3. 全体研修会の実施（防災食講座、日帰り研修会 等） 4. 町福祉事業への協力 ①小地域福祉活動への協力 ②町表彰式・賀詞交換会等への協力 5. 町社協事業への協力 ①賛助会員勧誘及び会費徴収活動、②共同募金法人向け募金活動 ③健康福祉センターまつりへの協力（民児協の主な活動紹介） 6. その他関連機関・施設への支援活動 ①児童・生徒の見守り活動、②こどもの館行事への支援活動 ③社会福祉協議会行事への支援活動、④町内施設へのボランティア活動
山北町	【研修事業】 ○救護及び救急救命講習会（9月11日） 小田原消防より講師を招き、心肺蘇生法等の講習を受けた ○交流会（9月11日） グループに別れて、テーマに沿っての話し合いを実施した ○各部会（児童部会、奉仕部会等）検討会 各部会において対処法等の検討会を実施した ○児童福祉施設等視察研修【中止】 【調査事業】 ○世帯調査（4月1日基準） ○避難行動要支援者制度調査 ○緊急時の連絡先調査（対象65才以上） ○見守り対象者実態調査（対象者把握） 【実践事業】 ○町内の幼稚園、保育園、こども園、小学校等への奉仕活動 ○各地域福祉協議会行事への協力 ○町内各行事（「青少年健全育成大会」「キッズフェスティバル」）等の参加協力 ○心配ごと相談（月1回）
開成町	【研修事業】 ○民児協研修 ○施設見学研修 ○定例会研修会 ①県民児協等主催の各種研修会へ参加および福祉施設等の視察研修・動画やリモート視聴での研修を実施した。 ②防災視察研修を実施した。 ③高齢・障がい・児童・広報部会を設置し、研修会や施設見学を実施した。 【実践活動】 ○ほほえみ通信発行 ○ふれあいほほえみ事業 ①ほほえみ通信を発行（年4回） ②社協共催による75歳以上の独居および高齢者世帯への弁当配布を通じて、日頃地域との関わりが少ない高齢者の抽出を図った。

市町村名	内 容
箱根町	【研修事業】 ○県外研修 視察場所：北海道洞爺湖町 期 日：令和 7 年 10 月 6～8 日 参加人数：26 名 ○町内研修 中止
真鶴町	【研修事業】 研修会参加 防災体験学習：東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」 実施日：令和 7 年 10 月 7 日（火） 概 要：もしここで地震が起きたら、国や自治体など支援体制が十分に整うまでは自力で生き残らなければなりません。その目安は 3 日間 72 時間といわれています。では救助が困難なその 72 時間を生き残るためにどうするかを防災体験を通じて学ぶ 【実践事業】 子育て支援事業等への協力 ・子育てグループ活動支援（毎月 1 回） ・こんにちは赤ちゃん対象宅訪問 ・小・中学校との交流会
湯河原町	【研修事業】 民生委員児童委員の知識の向上を図るため、研修会を開催 ・県民児協等主催の民生委員児童委員研修に参加 ・定例会開催時にミニ研修会を開催 ・西湘ブロック会議主催の研修会に参加 5/23「笑って健康づくり」参加 33 名 ・11/8 民児協主催による「子育てひろば～すくすくハート～」の開催 19 世帯、子育て実行委員 15 名（湯河原町防災コミュニティセンター） ・民生委員の知識の向上・相互の連携を図る視察研修を開催 6/18 参加 29 名 常総市「根新田町内会自主防災組織」訪問 10/8 参加 28 名 伊豆市「ふらっと月ヶ瀬」訪問 【調査事業】 要援護者等の把握・サービス提供対象者の調査 ・対象世帯（生活保護世帯・寝たきり老人・ひとりぐらし老人・老人夫婦世帯・在宅重度障害者・母子父子世帯・要保護準要保護児童等）の調査 【実践事業】 ・心配ごと行政相談室（毎月 10 日・20 日）に協力 行政相談員、人権擁護委員、法務局と協力し、3 人 1 組の当番制で住民の相談に応じた。 ・敬老のつどい（9/14）における記念品の配布と案内 ・社会福祉協議会に協力し、湯河原駅前等で共同募金街頭運動を実施（10/1）参加 11 名 ・年末慰問金の配布（12/10～12/31）要援護者等に町からの慰問金を個別配布 ・福祉タクシー券の配布（3/11～4/10） 在宅重度障害者（1～3 級）に福祉タクシー券を個別配布

② 地域福祉活動促進費交付額一覧 (単位：円)

横須賀市	1,168,000	大和市	554,000	大磯町	119,000
平塚市	841,000	伊勢原市	309,000	二宮町	108,500
鎌倉市	464,000	海老名市	328,500	中井町	75,500
藤沢市	1,040,000	座間市	309,000	大井町	96,500
小田原市	769,000	南足柄市	152,500	松田町	98,000
茅ヶ崎市	658,000	綾瀬市	291,000	山北町	95,000
逗子市	189,000	愛川町	142,000	開成町	90,500
三浦市	204,000	清川村	55,000	箱根町	105,500
秦野市	531,000	葉山町	119,000	真鶴町	69,500
厚木市	621,000	寒川町	163,500	湯河原町	119,000
				合 計	9,885,500

(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定

① 民生委員児童委員活動推進事業 経費：457,226円 ※送金手数料含む

多様化する住民のニーズや地域の福祉課題にそった民生委員・児童委員活動の推進をめざし、計画された意欲ある事業を奨励・普及するため、民児協を指定し、経費を助成した。

地域名	事業名	助成額
藤沢市民児協	民生委員児童委員共通理解促進資料の改訂	250,000
大和市民児協	民生委員活動 PR (横断幕及び顔抜きパネルの作成)	45,576
藤沢東部地区民児協	地域で支える孤独死予防推進事業	160,000

② 指定地区民生委員児童委員協議会への助成 経費：201,100円 ※送金手数料含む

全国互助共励事業の一環として、民児協運営の充実と地域福祉活動の振興を通じて民生委員・児童委員活動の活性化を図るため、2 地区を指定し、1 地区年額 100,000 円(国 63,000 円、県 37,000 円)の活動費を助成した。

- 助成金額合計：200,000 円(国：126,000 円、県：74,000 円)
- 指定期間：令和 7 年度から令和 8 年度の 2 ヶ年
- 指定地区民児協の主な活動内容

三浦市南下浦地区民児協 <会 長>村山 清文 <民生委員数>24 名 <世帯数・人口>約 6,425 世帯 人口約 14,192 名 単身高齢者が増え高齢化率が高い状況 被保護世帯数：172 世帯 人員：211 人 保護率：1.48% 高齢化率：37.95% <取り組んだ重点活動と具体的取組内容> ○単位民児協の機能強化 地域住民とのコミュニケーションを深めるとともに、情報の発信、個別の対応を円滑かつ迅速に行うことを目的に、ホームページの作成と LINE による委員・住民、双方向の相談・連絡方法の確立に取り組んだ。 <自己評価(成果と問題点)> ・ホームページには担当地域別に写真で委員を紹介、委員個別の名刺の活用と合わせ、各担当地域での活動・顔の見える関係づくりに役立つものと考えている。 ・初期の混乱を避けるため、LINE による意見・相談の窓口を当民児協委役員 7 名としてスタートしたが、地域担当委員との迅速な連携作りが今後の課題。 ・情報の発信源として有効なホームページが立ち上げられたと考えている。今後は各方面からの情報を収集し、幅広い事象の発信を行っていく予定。 <会合等の開催状況> 1. 民生委員児童委員活動の広報、地域情報の発信、意見・相談受付等のツールとしてホームページを立ち上げた。 2. ホームページと LINE による意見・相談受付開始の紹介を加えた各委員の名刺を作成、訪問活動での活用を図った。

秦野市東地区民児協

<会 長>小澤みつ江

<民生委員数>18 名

<世帯数・人口>約 7,282 世帯 人口 15,500 名 高齢化率は 34.3%

被保護世帯数：81 世帯 人員：113 人 保護率：約 7.29% 高齢化率：34.73%

<取り組んだ重点活動と具体的取組内容>

○東地区社協との連携

東社協の協力応援を要請。東社協への啓発活動。

・連合自治会長、ボランティアコーディネーター、民生委員児童委員の情報交換会（参加者－51 人・6 月開催）

・ニーズ対応チーム研修会（参加者－40 人・10 月開催）

・自治会連合会への説明会（参加者－6 地域の連合会会長、副会長・1 月）

○民生委員児童委員の研修等

民生委員がサロンについての知識・理解を深め各地で立上げに努力する。関連機関のアドバイスを受け、スムーズな運営につなげるようにした。

・実施地域のサロン活動を知り、地域に生かす工夫をする。関連機関にサロン実施地域の状況を説明し、具体例を紹介しあった(6 月)。

・サロンの活動状況の報告。各地域のサロンの活動状況を報告しあった(1～2 月)。

・遊具のお披露目会。購入した遊具をお披露目した(1 月)。

・未開設地域でのサロンの立ち上げ。既存のサロンのサポートからの開始。

○関連機関との連携・協力の推進

秦野市社協、秦野市高齢介護課、東・北地域高齢者支援センターに講師依頼。情報交換会、ニーズ対応チーム研修会に講師/アドバイザーとしてサポートを受けた。

<自己評価（成果と問題点）>

・啓発活動を進める中で、徐々に自治会長からの理解と協力が得られた。今後は地域の実情を考慮したい。

・関連機関 3 団体にサロンの必要性や立ち上げのための準備、紹介を依頼し、現状を紹介しあう中でサロンの立上げに前向きになりつつあった。しかしサロンとは何かがわからないメンバーが多かった。

・地域ごとにサロンについて意見交換をし、理解と立上げの機運が高まった。

・東社協の中心メンバーの連合会長に更なる理解と協力を要請、その支持を得た。

・サロンについての理解が深まりつつあったが、12 月の改選により半数が新任委員となり、再度の研修が必要になった。

・6 月の時点ではサロン活動の内容を理解する程度にとどまるメンバーが多かったが、各地域でのサロンの実情をまとめ、2 月の時点での状況を全員で把握することができた。

・購入した遊具（ボッチャ、ビンゴボードゲーム）のお披露目会を実施し、サロンの楽しさを味わった。

・10 地域のうち、6 団体でサロンを実施することができた。今後未開設地域での実施に向けて工夫を要する。

・関連機関 3 団体や民児協にサロンの必要性や立ち上げのための準備、サロンの紹介などをしていただき、知識や内容を理解することができた。

<会合等の開催状況>

1. 研修会・定例会（3 回開催）

「○民生委員児童委員の研修等」に同じ。

2. 東地区社協（3 回開催）

「○東地区社協との連携」に同じ。

(3) 地域版活動強化方策の策定支援

地域版活動強化方策の策定にあたり、各地区民児協が計画的にアドバイザーや外部講師の助言・指導を受けるための経費について助成するために令和 2 年度より支援制度を創設した。

○「地域版活動強化方策策定支援助成金」 申請なし

○「地域版活動強化方策出張講座」 申請なし

(4) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援経費：440,727円 ※送金手数料含む

各地域におけるニーズに応じた活動の展開を図るため、県内6ブロックそれぞれが実施する会議、研修会および関係機関との連絡会などをブロックの実状に応じて計画し、県民児協はその開催経費の助成を行った。

ブロック名	活動状況
横須賀・三浦 (4市1町) 横須賀市 鎌倉市 逗子市 三浦市 葉山町 幹事地域：葉山町 助成額：0円	○会議(3回) 8月13日：第1回ブロック会議 (1)各市民児協における事業について ①令和6年度事業報告・決算、②令和7年度事業計画・予算 (2)令和7年度横須賀・三浦ブロック会議の活動内容について (3)その他情報交換 12月12日：第2回ブロック会議 (1)一斉改選後の各市町の状況について (2)その他情報交換 3月24日：第3回ブロック会議 (1)令和7年度ブロック会議事業報告(案)及び決算(案)について (2)令和8年度ブロック会議事業計画(案)及び予算(案)について (3)神奈川県民児協共通課題について (4)その他情報交換 ○連絡会(1回) 10月27日：児童相談所との連絡会議 (1)地域における最近の相談状況等について (2)一時保護時の司法審査の導入後について (3)主任児童委員活動の課題
県央 (5市1町1村) 厚木市 大和市 海老名市 座間市 綾瀬市 愛川町 清川村 幹事地域：厚木市 助成額：158,000円	○会議(5回) 5月15日：綾瀬市主任児童委員及び愛川町主任児童委員情報交換会 (1)綾瀬市主任児童委員及び愛川町主任児童委員による活動紹介、情報交換 5月16日：第1回県央ブロック会議 (1)令和6年度事業報告及び収入支出決算について (2)令和7年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について (3)研修会(案)について (4)その他(情報交換等) 9月26日：第2回県央ブロック会議 (1)市町村民児協活動の情報交換について (2)その他 9月26日：主任児童委員情報交換会 (1)児童委員活動の情報交換 (2)その他 2月26日：第3回県央ブロック会議 (1)市町村民児協活動の情報交換 (2)県央ブロック幹事市の輪番及び大規模研修会について (3)令和7年度事業報告(案)及び令和8年度事業計画(案)について (4)県民児協広報委員の選出について (5)その他 ○研修会(1回) 7月30日：県央ブロック会議大規模研修会 テーマ：「2025年問題と民生委員・児童委員活動」 講師：松崎 吉之助氏(相模女子大学 人間社会学部 教授)

ブロック名	活 動 状 況
湘南東 (2市1町) 藤沢市 茅ヶ崎市 寒川町 幹事地域：茅ヶ崎市 助成額：3,537円	○会議(2回) 5月28日：第1回湘南東ブロック会議 (1)一斉改選に伴う引継ぎ資料の情報提供について (2)内申の提出状況 (3)サポーター制度について 10月27日：第2回湘南東ブロック会議 (1)サポーター制度について (2)藤沢市の委員向け資料について (3)一斉改選時、市町村民児協会長、副会長を決めるタイミングについて
湘南西 (3市2町) 平塚市 秦野市 伊勢原市 大磯町 二宮町 幹事地域：秦野市 助成額：40,000円	○会議(2回) 7月14日：第1回湘南西ブロック会議 (1)令和7年度事業計画について (2)各市町民児協からの提案議題に係る意見交換について 2月20日：第2回湘南西ブロック会議 (1)令和7年度事業報告 (2)令和7年度決算報告 (3)各市町村民児協からの提案議題に係る意見交換について (4)令和7年度 幹事について
足柄上 (1市5町) 南足柄市 中井町 大井町 松田町 山北町 開成町 幹事地域：南足柄市 助成額：146,000円	○会議(8回) 4月22日：第1回ブロック会議 (1)令和6年度事業・決算報告 (2)令和7年度事業計画 (3)民児協交流会の組み合わせ検討 (4)令和7年度小田原市保健福祉事務所足柄センターの活動紹介 9月29日：第1回会長会議 (1)第2回上ブロック民児協会議の日程、議題の明確化 (2)大規模研修会の内容の明確化、日程決め (3)地域版活動強化方策についての意見交換 (4)その他(一斉改選に向けての情報交換) 10月28日：第2回ブロック会議 (1)関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会出席報告 (2)全国民生委員児童委員大会出席報告 (3)第3ブロック会議(新役員)出席に関して (4)大規模研修会開催について 12月15日：第2回会長会議 (1)令和8～10年足柄上地区ブロックの役員決め (2)その他(情報交換) 12月19日：第3回ブロック会議 (1)令和8～10年足柄上地区ブロックの代表者名簿の紹介 (2)新役員の承認、会計の引継ぎについて (3)2月の大規模研修会開催内容 (4)3月、4月の上ブロックの会議予定 1月14日：会計業務の引継ぎ (1)会計業務の引継ぎ 3月23日：第3回会長会議 (1)令和7年度上ブロックの活動内容に関する意見交換 (2)令和8年度の小規模、大規模研修会の日程とテーマについて (3)令和8年度の民児協交流会の開催について 3月27日：会計監査 (1)令和7年度の会計監査 (2)その他、情報交換

ブロック名	活 動 状 況
	○研修会(2回) 7月29日：小規模研修会 テーマ：「地域＋学校＋スクールソーシャルワーカーで広がる支援の可能性」 講師：石井 真由美 氏（教育局県西教育事務所スクールソーシャルワーカーアドバイザー） 2月26日：大規模研修会 テーマ：民生委員・児童委員の活動について（神奈川県民児協 事務局長） ○連絡会(2回) 4月22日：第1回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会 (1) 令和7年度小田原保健福祉事務所足柄上センターの活動について紹介 7月14日：令和7年度県西地域青少年社会環境健全化推進会議 足柄上地区部会 (1) 県西地域青少年社会環境健全化推進事業などについて (2) 薬物乱用防止の取り組みについて (3) 足柄上地区管内の青少年非行などの状況について (4) 児童虐待防止の取り組みについて
西湘 (1市3町) 小田原市 箱根町 真鶴町 湯河原町 幹事地域：小田原市 助成額：90,000円	○会議(3回) 6月26日：令和7年度第1回西湘ブロック会議 (1) 研修会の結果について (2) 一斉改選について（情報交換） 10月23日：令和7年度第2回西湘ブロック会議 (1) 次期神奈川県民児協常任理事の選任について (2) 次回西湘ブロック会議の日程について 1月27日：令和7年度第3回西湘ブロック会議 (1) 新旧会長・副会長による西湘ブロック会議の引継ぎ事項について (2) 次年度事業計画（案）について (3) 次年度予算（案）について ○研修会(1回) 5月23日：令和7年度第1回西湘ブロック研修会 テーマ：「笑って元気になる体験型講演会」 講師：高田 佳子 氏（日本笑いヨガ協会 代表）

(5) 民生委員児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施

経費：1,665,310円 ※送金手数料含む

民生委員・児童委員が地域での福祉活動等に参加する際に発生する事故や怪我に対して安心して活動できるよう、各市町村民児協で民生委員・児童委員に対しての保険加入を促進するために、掛け金の一部を助成した。

<助成金交付状況>※人数は延べ人数

市町村名	助成人数(人)	合計額(円)	市町村名	助成人数(人)	合計額(円)
横須賀市	544	163,200	綾瀬市	171	51,300
平塚市	509	152,700	愛川町	88	26,400
鎌倉市	292	87,600	清川村	9	2,700
藤沢市	617	185,100	葉山町	63	18,900
小田原市	444	133,200	寒川町	85	25,500
茅ヶ崎市	432	129,600	大磯町	51	15,300
逗子市	0	0	二宮町	44	13,200
三浦市	102	30,600	中井町	43	12,900
秦野市	324	97,200	大井町	48	14,400
厚木市	378	113,400	松田町	34	10,200
大和市	310	93,000	山北町	59	17,700
伊勢原市	198	59,400	開成町	35	10,500

市町村名	助成人数(人)	合計額(円)	市町村名	助成人数(人)	合計額(円)
海老名市	213	63,900	箱根町	51	15,300
座間市	173	51,900	真鶴町	20	6,000
南足柄市	79	23,700	湯河原町	54	16,200
			合計	5,470	1,641,000

(6) 生活福祉資金の活用、社協との協働の促進

低所得者や障がい者、高齢者等の自立支援に向けて生活福祉資金貸付制度の活用につながるよう、役員会で制度説明の機会を設け、市町村民児協事務局への情報提供等を行った。

また、民生委員を対象に県社協が実施した新任研修や会長部会長研修、テーマ別研修Ⅰ・Ⅱ、活動推進会議等への参加協力を行った。

3. 児童委員活動の推進（基盤づくり） 経費：0円

働きながら活動している主任児童委員が多い中、オンデマンド配信による学びの機会を求める声がアンケート等で多数寄せられたこと、一斉改選により新任委員が増えた状況等を踏まえ、有識者による主任児童委員活動の基本を理解するための動画、先輩委員からのメッセージを収録した動画の配信を令和8年度から開始するため、調整・準備を進めた。

〈協力者〉

高橋 久雄 氏(社会福祉法人至誠学舎立川 至誠実践福祉総合研究所所長)

小林 美幸 氏(藤沢市主任児童委員連絡会委員長)

4. 研修事業の実施（本会主催研修事業） 経費：2,430,800円

本会事業から見てきた課題をもとに研修テーマを設定し、本会主催の研修を開催した。

(1) 市町村民児協会会長研修会

開催期日	内 容
7.10.16 (26名) 箱根路 開雲	「市町村民児協事務局との連携に向けて～市町村民児協会会長の役割を考える～」 ・テーマに係るリレートーク ～市町村民児協会会長として事務局との連携に向けて大切にしてきたこと、課題等（県民児協副会長3名） 白井 幸江 氏（横須賀市民児協 会長） 小原 公一 氏（平塚市民児協 会長） 二ノ宮要子 氏（綾瀬市民児協 会長） ・グループでの情報交換・全体共有

(2) 単位民児協会会長研修会

開催期日	内 容
第1回 7.6.30 (単位民児協会会長・事務局職員148名)	『おひとりさま』高齢者を地域で支えるために 「おひとりさま」高齢者の実情や課題／南足柄市社協における「アンカーサポート事業」について 講師：内嶋 順一 氏（神奈川県弁護士会弁護士） 報告者：平川 恵理子 氏（南足柄市社協職員） 石橋 誠市 氏（南足柄市民生委員・児童委員）
第2回 7.12.22 (単位民児協会会長・事務局職員132名)	「自分ごととして捉える認知症」 加齢による生活環境、心身・知覚機能の変化／基本的理解／認知症の方との接し方のポイント・工夫できること／認知症の方やその家族を支える地域の取り組み 講師：小野田 潤 氏（(株)結 代表取締役）
第3回 8.3.26 (単位民児協会会長・事務局職員145名)	「民生委員としておさえておきたい防災」 防災・災害の基礎知識／民生委員として知っておきたい法律や制度／災害時、民生委員に求められる（期待される）役割 講師：小林 雅彦 氏（国際医療福祉大学大学院 教授）

(3) 地域版活動強化方策策定支援研修会

開催期日	内 容
7. 7. 28～9. 30 ※上記期間限定のオンデマンド配信	・講義 「活動強化方策とは」 活動強化方策とは/全民児連手引「地域版活動強化方策」の考え方/神奈川県民児協の進め方/神奈川県版活動強化方策/民児協の役割/活動強化方策策定の意味 他 講師：中村 美安子 氏（神奈川県立保健福祉大学教授）

5. 情報提供の強化

(1) 『県民児協だより』の発行 **経費：2, 3 5 8, 4 7 9円**

『県民児協だより』（161号～164号）を発行し、発行に向け広報委員会を4回開催した。

（※ 1. (2)②「広報委員会」、③「通信員連絡会」の項参照）

<発行回数及び部数> 4回 各5,000部

<配布先> 民生委員・児童委員、関係機関団体等

<掲載内容>

号数	コーナー名	掲載内容
161号	まなざし	中井町民児協
	特集①	この3年間を振り返って～2022-2024年の主な動き～
	特集②	令和7年度県民児協 事業計画・予算
	特集③	民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様へ～神奈川県所管課より～
	NEWS&インフォメーション	令和7年度「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」取り組み報告
	通信員だより	(1) 我が地区の大物ルーキー（茅ヶ崎市 佐藤 幸子） (2) 手紙でつなぐ笑顔（座間市 中村 由美） (3) 多様なテーマでセミナー開催（葉山町 宮崎 進）
162号	まなざし	大井町民児協
	特集①	みなさんにとって、どんな3年間でしたか
	特集②	県民児協助成事業のご紹介
	NEWS&インフォメーション／編集雑感	・第85回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会 ・令和7年度第1回単位民児協会長研修会の報告
	通信員だより	(1) なり手を増やす取り組み（鎌倉市 大崎 美紀雄） (2) 敬老会での見守り（清川村 岩澤 正信） (3) 地域住民の見守り（スクールバス）（真鶴町 織壁 志郎）
163号	まなざし	松田町民児協
	特集①	広報委員の3年間を振り返って
	特集②	「期の浅い委員へのサポートに向けたヒント集」の作成報告
	NEWS&インフォメーション	令和7年度第94回全国民生委員児童委員（北海道大会）の報告
	通信員だより	(1) 「こんにちは 赤ちゃん」赤ちゃん訪問（三浦市 山岸 義明） (2) 食糧支援の「はじめのいっぽ」（厚木市 江良 泰成） (3) 笑顔で活躍する仲間達（中井町 西尾 美嘉子）
164号	まなざし	山北町民児協
	特集①	神奈川県民児協 新役員体制のご紹介
	特集②	県（地域福祉課、子ども家庭課）・県社協会長より激励メッセージ
	特集③	令和7年度受賞者紹介
	NEWS&インフォメーション	県民児協グッズのご紹介
	特集④	神奈川県民児協 新広報委員のご紹介

また、県民児協だよりに挟み込む形で別刷りの資料を作成し、配布した。

- ・神奈川県民児協データファイル No.36（県民児協だより 162 号に挟み込み）
「一斉改選に向けた引き継ぎの準備」
- ・神奈川県民児協データファイル No.37（県民児協だより 163 号に挟み込み）
「令和 7 年度個別援助票集計結果概要の報告」
- ・神奈川県民児協データファイル No.38（県民児協だより 164 号に挟み込み）
「神奈川県民児協ホームページの活用」

(2) 民生委員・児童委員活動の広報の強化 経費：455,191円

① 民生委員・児童委員活動PR事業

(ア) PR動画（CM）の活用

家族の介護や子育て等、これまでの人生経験から得たスキルや視点が民生委員・児童委員活動に活かすことができることを伝え、なり手確保につなげるためのPR動画を活用した。

また、令和8年5月の「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」でのPRに向けて、動画共有サイトYouTubeやデジタルサイネージ等で配信するための準備を進めた。



(イ) PRグッズの作成・配布

各地域でPR活動等に活用できるよう、神奈川県民児協キャラクター「みんぴょん」をモチーフにしたPRグッズを配布した。

(ウ) 「民生委員・児童委員からのメッセージ」の活用

神奈川県民児協ホームページで展開するコンテンツ「民生委員・児童委員からのメッセージ」において、民生委員・児童委員になったきっかけややりがい、活動していくうえで大切にしていること等について広く発信した。



② 県民児協ホームページ等の運営

写真や動画で分かりやすく伝えるために「県民児協だより」等の掲載を随時更新するとともに、委員専用ページへのパンフレットやみんぴょんデータ、研修資料の掲載、関連団体の研修情報を掲載する等様々な活用を行った。

また、市町村・地区民児協からのお知らせページについて、市町村民児協事務担当者会議にて掲載方法等の説明を行い、地域の広報誌やイベント等の情報を掲載し、情報発信ツールの1つとしての活用を図った。その他、全民児連や全社協、県等の関係機関団体より民生委員・児童委員を対象に発行された資料等を市町村民児協を通じ、随時、情報として提供した。

③ 研修用DVD等研修資料の整備

各地区民児協の研修、学習会等の教材として役立つ書籍やDVDを購入・貸出用として整理し、各市町村民児協事務局を通じて貸出を行った。貸出件数：1件

④ PR用ビブスの貸し出し

民生委員・児童委員PR用のビブスについて、市町村民児協事務局を通じて貸出を行った。貸出件数：1件

⑤ 県社協「福祉タイムズ」連載への協力

6. 全国・関東ブロック会議等への参加 経費：2,351,821円

年 月 日	会 議 名	開催地	参加者数
7.7.10～11	令和7年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会 ・式典、全体会、記念講演、分科会協議	埼玉県 熊谷市	11名
7.8.7～8	令和7年度全国児童委員・主任児童委員活動研修会 ・行政説明、講義、パネルディスカッション、分科会	東京都	3名
7.9.4～5	令和7年度全国民生委員児童委員大会 ・式典、全民児連会長表彰、特別講義、活動交流集会・シンポジウム	北海道 札幌市	9名
7.10.30～31	令和7年度全国民生委員・児童委員リーダー研修会 ・行政説明、講義、実践報告、グループワーク	東京都	3名
8.2.4～6	令和7年度全国民生委員指導者研修会 ・行政説明、事業説明、講義、人権学習、講義・演習	神奈川県	2名

7. 関連機関・団体との連携、協働

(1) 県社会福祉審議会、県児童福祉審議会をはじめとした県関係の高齢・障がい・児童等の福祉関係の審議会や委員会等のほか、神奈川県共同募金会などの関係団体の会議等に参加・協力した。
また、北方領土返還要求運動神奈川県民会議に負担金を納め、事業への協力を行った。

(2) 神奈川県・横須賀市からの委託事業として県社協が実施する研修事業の開催に協力した。これらは、民生委員法に基づく民生委員の指導訓練のために行政機関が行う研修となっている。

①新任民生委員児童委員研修会

新任委員（令和7年12月1日以降に新たに委嘱された民生委員児童委員（主任児童委員を含む）、および本研修未受講の民生委員児童委員（主任児童委員を含む））を対象に開催

開催日等	内 容
7.12.17 (225名)	・講義①「民生委員児童委員の役割と心構え」 講師：小林 雅彦 氏（国際医療福祉大学大学院 教授）
8.1.13 (209名)	・説明①「生活福祉資金貸付制度について」 説明者：神奈川県社協生活支援課
8.1.23 (119名)	・説明②「県民児協事務局からのお知らせ」 説明者：神奈川県民児協事務局
8.1.16～ 2.28	・先輩委員からのメッセージ：「民生委員児童委員のやりがいと楽しさ」 メッセンジャー：寺下 かつ子 氏（大井町民児協 会長） 二ノ宮 要子 氏（綾瀬市民児協 会長） 田中 昭雄 氏（海老名市民児協 会長）
※オンデマ ンド配信 (565名)	・講義②「良好な信頼関係を築くためのポイント」 講師：小林 雅彦 氏（国際医療福祉大学大学院 教授）

②民生委員児童委員会長部会長研修会

単位地区民児協正副会長、各種正副部会長等リーダー層を対象に開催

開催日等	内 容
8.3.9 (77名)	「単位民児協リーダーの役割」 ・講義
8.3.19～ 3.27	単位民児協リーダーの心構え 単位民児協リーダーの役割 計画に基づいた組織活動 定例会について （ミニワーク）近くの席の人と定例会の課題や工夫について話してみよう！ まとめ
※オンデマ ンド配信 (133名)	講師：増田 直哉 氏（株式会社エイデル研究所）

③民生委員児童委員テーマ別研修□・Ⅱ

開催日等	内 容
8. 2. 25 (75 名)	テーマ別研修Ⅰ 「高齢者の消費生活トラブルを地域で防ぐ～民生委員にできること～」
8. 3. 12～ 27	・講義 高齢者の消費生活トラブルの現状と特徴/悪質商法の手口/押さえるべき契約の基本 や法律/相談機関・団体/事例/民生委員に期待すること 等
※オンデマ ンド配信 (179 名)	・ワーク 講 師：五十嵐 朋之 氏(消費生活相談員)
8. 3. 2 (97 名)	テーマ別研修Ⅱ 「民生委員活動における個人情報とプライバシーの配慮」
8. 3. 12～ 27	・講義 個人情報とプライバシーの違い/「個人情報保護法」とは/地域住民への「見守り 活 動」はどこまでが適切か/地域住民に寄り添うことと、プライバシー侵害のボーダー ライン/地域住民から寄せられる情報の取り扱い/本人、家族への聞き取りの際の配 慮/他の民生委員や専門職、機関への相談時の配慮/地域ケア会議等の「場」におけ る情報共有の際の配慮
※オンデマ ンド配信 (193 名)	講 師：川上 富雄 氏(駒澤大学 教授)

(3) 全民児連分担金として 3,093,300 円を納めた。

(4) 県社協民生委員児童委員部会に正副会長が委員として参画した。また、県社協民生委員児童委員部会より、令和 7 年度民生委員児童委員部会活動助成費として 774,000 円が交付された。

(5) 関東甲信越 1 都 10 県 8 政令市の民生委員・児童委員をもって組織する関東ブロック民生委員児童委員連合協議会会費として 93,180 円を納めた。

(6) 令和 7 年度都道府県・指定都市民児協事務局会議(7. 6. 10～11・東京都)に、事務局員 2 名が参加した。【会議内容：行政説明/事業説明、情報交換会、グループ討議】

決算報告

令和7年度 神奈川県民生委員児童委員協議会収入支出決算書(案)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

収入決算額 48,281,458 円
支出決算額 46,282,265 円
差引|残額 1,999,193 円 (次年度へ繰越)

(収入の部)		(単位 円)					
科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③(①+②)	決算額 ④	差引増減 (③－④)	説 明
大区 区分	小区分						
1. 会費		28,801,000	0	28,801,000	28,723,500	77,500	
	1. 会費	28,801,000	0	28,801,000	28,723,500	77,500	
	1. 会費	28,801,000	0	28,801,000	28,723,500	77,500	年会費6,500×実数4,419人 28,723,500
2. 補助金		14,774,000	0	14,774,000	13,769,400	1,004,600	
	1. 補助金	5,152,000	0	5,152,000	5,096,000	56,000	
	1. 補助金	5,152,000	0	5,152,000	5,096,000	56,000	神奈川県 4,173,000
						0	横須賀市 923,000
2. 神奈川県委託費		0	0	0	0	0	
	1. 神奈川県委託費	0	0	0	0	0	
3. 全社協助成金		8,846,000	0	8,846,000	7,899,400	946,600	
	1. 全国互助共励事業助成金	8,846,000	0	8,846,000	7,899,400	946,600	互助事業費補助 6,050,000
							共励事業費補助 523,700
							取扱事務費補助 1,325,700
4. 県社協助成金		776,000	0	776,000	774,000	2,000	
	1. 民生委員部会助成金	776,000	0	776,000	774,000	2,000	

3. 諸收入		39,000	0	39,000	125,202	△ 86,202	
1. 雑收入		39,000	0	39,000	125,202	△ 86,202	
1. 物資斡旋收入		9,000	0	9,000	0	9,000	
2. 雑收入		30,000	0	30,000	125,202	△ 95,202	預金利息等
4. 積立金取崩収入		8,545,000	0	8,545,000	4,000,000	4,545,000	
1. 積立金取崩収入		8,545,000	0	8,545,000	4,000,000	4,545,000	
1. 退任記念品積立金取崩収入		4,279,000	0	4,279,000	4,000,000	279,000	
2. 一斉改選積立金取崩収入		1,302,000	0	1,302,000	0	1,302,000	
3. 運用準備積立金取崩収入		2,964,000	0	2,964,000	0	2,964,000	
5. 繰入金		10,000	0	10,000	0	10,000	
1. 繰入金		10,000	0	10,000	0	10,000	
1. 基本財産繰入金		10,000	0	10,000	0	10,000	
6. 繰越金		0	1,663,356	1,663,356	1,663,356	0	
1. 繰越金		0	1,663,356	1,663,356	1,663,356	0	
1. 前年度繰越金		0	1,663,356	1,663,356	1,663,356	0	
収入合計	52,169,000	1,663,356	53,832,356	48,281,458	5,550,898		

(支出の部)

(単位：円)

大区分	科 目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③ (①+②)	決算額 ④	差異 (③-④)	執行率 (③/④)	説 明
	中区分	小区分							
1. 運営費			14,907,000	1,001,000	15,908,000	14,677,157	1,230,843	92.3%	
1. 役員費			1,734,000	0	1,734,000	1,937,331	△ 203,331	111.7%	
1. 役員費			1,671,000	0	1,671,000	1,907,729	△ 236,729	114.2%	正副会長会議 常任理事会 理 事 会 監 事 会 総 会
2. 役員旅費			22,000	0	22,000	0	22,000	0.0%	正副会長・各種委員会委員等
3. 役員交際費			31,000	0	31,000	29,602	1,398	95.5%	大会祝金・慶弔費用
4. 支援・交流費			10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	
2. 管理費			13,173,000	1,001,000	14,174,000	12,739,826	1,434,174	89.9%	
1. 職員旅費			6,000	0	6,000	0	6,000	0.0%	
2. 需用費			520,000	1,001,000	1,521,000	611,610	909,390	40.2%	事業計画・予算書印刷代等
3. 役務費			428,000	0	428,000	491,656	△ 63,656	114.9%	送金手数料、通信運搬費
4. 借料及び損料			551,000	0	551,000	33,550	517,450	6.1%	会計ソフト管理料
5. 備品費			10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	参考図書費
6. 負担金			11,658,000	0	11,658,000	11,603,010	54,990	99.5%	全社協互助共励会費 全市民連会費 関プロ会費 全国事務担当者会議 県内団体会議等
2. 育成事業費			24,580,000	0	24,580,000	23,571,838	1,008,162	95.9%	
1. 研修費			5,661,000	0	5,661,000	4,688,891	972,109	82.8%	
1. 研修費			2,712,000		2,712,000	2,430,800	281,200	89.6%	市町村民児協会長研修 地区民児協会長研修 研修共通経費 ※1 課題別集中講座は県、横須賀市委託研修と一定の実施 ※2 活動強化方策策定支援研修はオンライン配信を実施
2. 全国会議等研修会			2,949,000	0	2,949,000	2,258,091	690,909	76.6%	関東ブロック活動研究協議会 全国児童委員活動研修会 全国大会 民生委員リーダー研修会 全国民生委員指導者研修会

2. 調査広報費	4,721,000	0	4,721,000	4,857,639	△ 136,639	102.9%			
	1. 委員会費	578,000	0	578,000	363,753	214,247	62.9%	総合企画委員会 広報委員会 通信員連絡会	73,437 111,690 178,626
	2. 広報活動費	3,999,000	0	3,999,000	4,268,022	△ 269,022	106.7%	県民児協だより発行費 民生委員児童委員活動PR作成費 活動資料発行費 HP運営費、広報活動用PCリース料 情報提供等通信運搬費等	2,358,479 455,191 867,900 247,258 339,194
	3. 連絡調整会議費	144,000	0	144,000	225,864	△ 81,864	156.9%	県行政との懇談会 児童相談所所長との連絡会議費 事務担当者会議	44,722 127,792 53,350
	3. 地域福祉活動費	14,188,000	0	14,188,000	14,025,308	162,692	98.9%	当該年度の定数を基準に積算	
	1. 市町村民児協 支援費	9,856,000	0	9,856,000	9,885,500	△ 29,500	100.3%		
	2. 活動推進費	3,600,000	0	3,600,000	3,481,482	118,518	96.7%	ブロック別活動助成費 保険掛金助成金 個別援助票等印刷代 必携購入費	440,727 1,665,310 551,250 824,195
	3. 指定民児協 推進費	732,000	0	732,000	658,326	73,674	89.9%	指定民協助成 活動推進事業	201,100 457,226
	4. 物資幹旋費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
	1. 物資幹旋費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%		
	3. 互助事業費	7,407,000	0	7,407,000	7,989,270	△ 582,270	107.9%		
	1. 県単互助事業費	1,290,000	0	1,290,000	1,350,000	△ 60,000	104.7%		
	1. 県単弔慰金	450,000	0	450,000	550,000	△ 100,000	122.2%	県単弔慰金	
	2. 県単見舞金	840,000	0	840,000	800,000	40,000	95.2%	県単見舞金	
	2. 全国互助事業費	1,838,000	0	1,838,000	1,662,000	176,000	90.4%		
	1. 全国弔慰金	620,000	0	620,000	670,000	△ 50,000	108.1%	全国弔慰金	
	2. 全国見舞金	1,218,000	0	1,218,000	992,000	226,000	81.4%	全国見舞金	
	3. 退任記念品作成費	4,279,000	0	4,279,000	4,977,270	△ 698,270	116.3%	退任記念品作成費	
	1. 退任記念品作成費	4,279,000	0	4,279,000	4,977,270	△ 698,270	116.3%	退任記念品作成費	

4. 積立金		5,265,000	662,356	5,927,356	44,000	5,883,356	0.7%	
1. 積立金		5,265,000	662,356	5,927,356	44,000	5,883,356	0.7%	
	1. 退任記念品積立金等	5,245,000	662,356	5,907,356	44,000	5,863,356	0.7%	退任記念品積立金
	2. 運用準備金積立金	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	
	3. 一斉改選積立金	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	
5. 予備費		10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	
1. 予備費		10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	
	1. 予備費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	
支出合計		52,169,000	1,663,356	53,832,356	46,282,265	7,550,091	86.0%	

貸 借 対 照 表

令和 8 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	3,265,434	流動負債	586,338
現金	0	未払金	534,314
預金	3,265,434	預り金	52,024
前払費用	0		
未収金	0		
		基金	21,843,960
固定資産	29,756,657	基本財産基金	21,843,960
基本財産	21,843,960		
預金	21,843,960		
		積立金	8,592,600
積立資産	7,912,697	退任記念品作成準備積立金	163,774
預金	7,912,697	運用準備金積立金	7,748,923
		一斉改選積立金	679,903
		繰越金	1,999,193
		次年度繰越金	1,999,193
資産合計	33,022,091	負債・純財産合計	33,022,091

固 定 資 産 増 減 明 細 書

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

資産	前期末残高	期中増	期中減	期末残高	
基本財産	21,839,337	4,623	0	21,843,960	(別表1-(g))
預金	21,839,337	4,623	0	21,843,960	
運用財産	12,957,763	2,061,381	7,106,447	7,912,697	(別表1-(c+d+e))
固定資産	12,957,763	2,061,381	7,106,447	7,912,697	
預金	12,957,763	2,061,381	7,106,447	7,912,697	
その他固定資産	0	0	0	0	
	34,797,100	2,066,004	7,106,447	29,756,657	

積立金明細書

令和8年3月31日現在

(単位：円)

区分	前期末残高	当期		貸借対照表 計上額	
		増加額	減少額		
1. 退任記念品作成準備積立金	4,114,722	49,822	4,000,770	163,774	(別表1-(c))
2. 運用準備金積立金	7,744,364	4,559	0	7,748,923	(別表1-(d)+(e))
3. 一斉改選積立金	678,741	1,162	0	679,903	(別表1-(f))
合 計	12,537,827	55,543	4,000,770	8,592,600	

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(資 産)		33,022,091 円		
1. 基 本 財 産		21,843,960 円		
	(1) 預 金	21,843,960 円	(別表1)	(g)
2. 運 用 財 産		11,178,131 円		
	流 動 資 産	3,265,434 円		
	(1) 現 金	0 円		
	(2) 預 金	3,265,434 円	(別表1)	(a)+(b)+(f)
	(3) 前 払 費 用	0 円		
	(4) 立 替 金	0 円		
	(5) 未 収 金	0 円		
	固 定 資 産	7,912,697 円		
	(1) 預 金	7,912,697 円	(別表1)	(c)+(d)+(e)

※固定資産増減明細書「基本財産」

※固定資産増減明細書「運用財産」

(負 債)		586,338 円		
1. 流 動 負 債		586,338 円		
	(1) 未 払 金	534,314 円	(別表2)	
	(2) 預 り 金	52,024 円	(別表3)	

差引正味財産 ((資産) - (負債)) 32,435,753 円

《資 産》

別表 1 預金

(単位：円)

種類	銀行名	会計名	一般口	退任記念品 作製準備積立	運用準備金 積立	一斉改選 積立	基本財産	合計
普通 預金	横浜銀行 横浜駅前支店					679,903 (f)		679,903
	三井住友信託銀行 芝営業部		2,160 (a)	163,774 (c)				165,934
	三井住友銀行 横浜駅前支店		2,583,371 (b)		2,179,531 (d)			4,762,902
定期 預金	三井住友信託銀行 芝営業部				5,569,392 (e)		21,843,960 (g)	27,413,352
合 計			2,585,531	163,774	7,748,923	679,903	21,843,960	33,022,091

《負債》

別表 2 未払金 534,314 円

(単位：円)

No.	摘要	
1	令和 7 年度第 6 回理事会 会場使用料	70,400
2	令和 7 年度通信員連絡会 会場使用料	52,800
3	令和 7 年度通信員連絡会 委員旅費日当	125,826
4	令和 7 年度広報委員会 委員旅費日当	22,466
5	三井住友銀行 E B サービス (3 月分)	2,200
6	ヤマト運輸サービス利用料 (3 月分)	66,792
7	永年勤続退任表彰筆耕料	51,000
8	切手代 (3 月分)	2,830
9	令和 7 年度互助給付金 (全国・3 月分)	70,000
10	令和 7 年度互助給付金 (県単・3 月分)	70,000
合計		534,314

別表 3 預り金 52,024 円

(単位：円)

No.	摘要	
1	源泉所得税預り金	52,024
合計		52,024

監 査 意 見 書

令和 8 年 5 月 2 8 日

神奈川県民生委員児童委員協議会会長 殿

神奈川県民生委員児童委員協議会会則第 19 条の定めるところにより、令和 7 年度における業務の執行状況並びに財務状況について、当該年度の事業報告及び収支決算、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類を精査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認める。

神奈川県民生委員児童委員協議会

監事 小澤 彰 

監事 宮代 孝男 

